●帝政問題と帝國政府

支那國體改革問題に對し日本政府は彼より何等かの申込ある迄は冷靜的態度を以て傍觀する方針に確定し其旨前公使館にも電命し來れり（九日北京特電）

●豫算審議

九日は内閣會議の定例日に付大隈首相以下各大臣午前十時より參集明年度豫算並に内外重要政務に就き協議する所あり諸般の報告ありたる後武富藏相は來年度豫算概算査定の計畫を報告各省の要求額は歳入所定額を超過すること七千萬圓以上の巨額に達するも大藏省現在の財政狀態に鑑み法律其他避く可からざる事項による費目以外は成る可く之を削除更正するの餘儀無かりし旨を陳べ尙ほ數字上其他詳細に亘りては一木主計局長說明の任に當り夫より各省所管豫算案の審議に入り武富藏相と各大臣間に種々の質疑應答ありたるも當日は豫算閣議の序幕なるを以て何等決定を見るに至らず今後の審議方針と事實とを協議し次で米價調節方法に就き攻究する所あり午後も引續き會議ありたり（東京特電）

雜報

●總督告示

教員講習會終了式場に於て

諸子、本總督は今回斯く多數の講習會員を見るを得たるを喜ぶ、仍りて玆に一言以て告ぐ所あらむとす、諸子が或は實業教育に或は普通教育に膺を奉じ各々克く其本務に精勵しつゝあるは本總督の多とする所なり夫れ教育の要は正確なる智識と熟練せる技能とを有し誠實にして質素勤勉なる實用的人材の教養にありとす是れ即ち忠良なる國民を育成する所以にして國家教育の大本は實に玆に存す、諸子は深く之れを思ひ能く本府教育の方針を體し其地方の狀況に鑑み其教授に將た其訓練に各々實際に適切なる施設を爲し以て教育の實効を擧げむことを望む、然れども人世百般の行事、方法は末にして誠意は本なり、故に萬一教育にして其職務に對して誠意を缺かん縱令其教授訓練の施設方法に於て誤る所なしとするも到底教育の目的を達することは能はざる可し、故に諸子は其本末を誤ることなく至誠事に當り慈愛以て之を教へ、正義以て之を導かんことを要す、此の如くむば生徒の敬信と父兄郷黨の信賴とは招かずして自ら來る可く其感化は容易に行はれ教授訓練の施設も玆に始めて効果あるに至る可し、諸子夫れ之を思ひ常に人格の修養と學藝の研鑽とに努め、至誠以て其本務を完うせんことを期す可し

終りに臨みて、朝鮮物産共進會に就きて一言せんとす、本共進會には普く朝鮮各地の物産を蒐集陳列し各般の施設狀況を展示し以て一面には當業者を鼓舞奬勵し一面には朝鮮人に新政の惠澤を自覺せしめ以て向後益々朝鮮の開發に資益する所あらしめむとするものなり、故に教育上より見るも有益なる參考資料尠からず、諸子は幸に此機會に於て精細に之を視察し以て教育上に利用する所ある可し。

大正四年九月九日

朝鮮總督伯爵 寺内 正毅

●次官大使更迭（内定）

外務次官松井慶次郎氏は石井大使の後任として駐佛大使に任ぜられ現和蘭駐剳公使幣原喜重郎氏後を襲ふて外務次官に任ぜらるゝことに内定し小池政務局長は留任の事に内定せる由尙ほ阪田通商局長日置公使の進退に就きては外相就任後決せらる可きが多分現狀維持ならんと（東京特電）

●宮殿下御差遣（發表）

既報の如く畏き邊りにては朝鮮始政五年記念物産共進會に閑院宮載仁親王殿下を差し遣はさるべき旨八日御沙汰あらせられ九日官報を以て發表せられたり（東京特電）

●市原總裁

市原鮮銀總裁來阪して金森に投宿せり（大阪特電）

●原總裁

九日夜來阪せし原政友會總裁一行は十日名古屋へ向へり（大阪特電）

始政五年記念 朝鮮物産共進會

▲總督夫人觀覽

寺内總督夫人は九日共進會場を視察したるが十日も亦午後二時より兒玉伯爵夫人及び令孃同伴、持地夫人等と共に二臺の馬車を驅つて共進會場に赴き各館に就き詳細觀覽の上午後六時歸邸したり

▲祝賀會順序

京城協贊會に於て十一日午後二時より神武門外の芝生に於て擧行する開場式祝賀の順序は午後正二時爆竹の合圖にて總督其他の來賓一同着席し三時第二の爆竹にて當日の宴會場に充てられたる神武門外の天幕内に設けたる食堂を開始し席上來賓總代の祝辭吉原總裁の答辭並に報告等ありて四時宴を撤し附近に設けられたる模擬店を開始す當日來賓には一定の徽章、記念繪端書、會場案内圖、開會順序書、演藝館番組等を交附することゝなり居れり

●警長會議（第五日）

警務部長憲兵分隊長會第五日は午前八時三十分より警務總監部に開會午前中は軍事警察に就き午後は注意事項高等警察等に就き協議を爲し午後四時散會したり同會議は當日を以て終了の筈なりしも打合せの必要上十三日迄延期さる可し

●講習會終了式

寺内總督臨場

小學校並に普通學校内地人教員講習會は九日終了せるを以て同日午後二時半より講習會場たる京城中學校に於て終了式を擧行せり定刻に先だち寺内總督は山縣政務總監帶同宇佐美内務部長官、關屋學務局長、白井森兩武官、遠藤秘書官、大藤副官等を隨へて臨場講習狀況を視察したる後百數十名の受講者に對して別項記載の如く告辭あり終つて講習員一同に茶菓を饗し午後四時閉會したるが總督一行は自働車を驅つて共進會場に向へり

●總長晩餐會

立花警務總長は十一日午後七時より目下入京中なる憲兵隊長警務部長を朝鮮ホテルに招き晩餐會を催せり、總監部よりは山形大佐、具、玄角、中野各警務官、永谷警視、大橋高級副官其他列席したり

▲祝賀會と來賓

京城協贊會主催の祝賀會は十一日午後二時より開場し五時頃閉會の豫定なるが當日は各來賓に對し演藝館其他各興行物を隨意無料にて觀覽せしむる趣向に付來賓は午前十一時共進會開場と同時に入場の上先に演藝館（午前十一時開場）其他の餘興を觀覽し二時より祝賀會に出席するものなりと尙ほ當日協贊會にては午前十一時前より光化門及び迎秋門に受附を設くるを以て來賓は同所より入場せられたしと因に當日雨天なれば慶會樓階下を會場に充て各所の建物を便宜模擬店に使用する計畫也と

▲打鐘鳴笛の注意

共進會開場の祝意を表し併せて開場時間を一般に周知せしむる爲十一日午前十一時の開場時間と同時場内及び漢陽公園にて花火三發を打揚げ之を合圖に各寺院、學校、工場、汽車等に於て二分間一齊に打鐘鳴笛せられ度き旨此程京城協贊會より記各所宛夫々依賴狀を發したるが尙通知洩れの向ある哉も難計に付其等は右方法に依り便宜取計はれたしと

○巴奈馬運河不通となる

附近地の大地震の爲めか

巴奈馬運河は全然不通となり三十隻の船舶は立往生の姿となれり右報道と同時にサンサルヴアドル及びグアテマラに大地震ありたる旨の報知來れり（東京特電）

▲奏樂時間決定

共進會場に於て吹奏する李王職の音樂隊は十一日の開會當日より左の日割を以て種々演奏の番組を變更し奏樂すべしと

- 月曜晝（自午後零時至同四時）
- 火曜夜（自午後六時至同九時）
- 水曜晝（自午後零時至同四時）
- 木曜夜（自午後六時至同九時）
- 金曜晝（自午後零時至同四時）
- 土曜晝夜（自午後一時至同五時）
- 日曜晝夜（自午後一時至同五時）

▲理事會決定事項

京城協贊會は八日午後二時より八時に亙り約六時間の長會議を爲し會期切迫の爲め各般の打合を行ひたるが其内定せるもの如左（既報正誤）

▲海軍の探照燈

豫て吉原會長より總督附武官手を經て海軍省と交涉中なりし四萬餘燭光（現在のものゝ三倍）の探照燈借入の件は近々之れを借り入れ漢陽公園に現在据付けあるものと同所に設備して使用すべしと此四萬燭光の探照燈より發射する光線は漢陽公園より龍山又は共進會場内の人の顏を明かに認め得る程のものなりと

▲演藝館の喫煙

演藝館内に於て觀客に喫煙を許す可きや否やに就ては問題となり居たるも火鉢の設備に困難なると火災の取締上とより禁煙說多數を占め居たれども一應警備係と打合せたる上決定することゝなりたり

▲雨天の場合は

協贊會にては十一日午後二時より神武門外の芝生に於て朝鮮の來賓一千三百名を招待し大宴會を開催することゝなり居るも若し萬一雨天の際は慶會樓の階下に於て宴會を開くことに決定せり

●兵庫縣視察團

十二日入京せん

兵庫縣にては今春來漸次有志の朝鮮視察を行ひ漸次朝鮮接近の歩を進めつゝあり追而も又朝鮮物産共進會の開催を機として同縣一流紳士を網羅せる朝鮮視察團を送ることゝなり八月中出發の豫定なりし事は本紙既報の如し然るに過日來の天候不穩の爲め出發延期の模樣なりしが十日下關發同團より本社長宛の電報に據れば同團は十一日鎭海に到著し同地方視察の上十二日午前京城到著の豫定なれば多分是を以て共進會開會先登第一の視察團なりと爲す可し

●連絡船順調

八日六連に避難中の連絡船高麗丸は九日午後七時五十分釜山入港折返し九日夜行便として一時間延發又九日夜釜山著連絡船弘濟丸も續いて入港同發の夜行列車に接續せり

●洛東江增水二十尺

洛東江は九日夜十二時に至り十九尺六寸線路諸所の軌條下迄浸水汽車除行運轉に差支なし十日午前より益々增水し二時に至り既に二十尺に達し今の處減水の模樣なし天候晴たり（馬山）

●小普學校教師仁川行

講習會の爲め入京中なりし各道公立小學校普通學校教師六十一名は十日午前水族館見物の爲仁川へ赴きたり

人事消息

▲寺田廣島縣知事一行 十日午前元山へ

▲ミーラー夫人（京城英國總領事夫人）内地に避暑中の處十日朝南大門驛着列車にて歸京

▲桑原咸北道長官 共進會觀覽及び土木會議其他の事務打合の爲め九月末より二週間京城に出張を命ぜらる

▲大塚常三郎氏 腎臓炎にて別府溫泉にて靜養中の處頃日來病勢漸く衰へたれば十日福岡大學病院に於て診斷を受け若し差支へなければ來る十四日頃歸任

▲村田素一郎氏（商務課長） 福岡及び東京へ出張中の處十日歸任

南言北語

待ち兼ねて居た共進會も愈々十一日には開會さるゝ▲南大門通りの坦々たる大道之や洵に長安の大路にも似てズツーと立ち竝んで街の兩側に茂つた柳には肌に心地よき秋風がサラ〱と流れる▲秋の京城は仙都である其の仙都に一廚の風致を添へた白岳の麓▲翠色濃き北漢の連脈を背景に白堊城砦の如く軒を連ね各種建築の粹を誇る諸館は莊嚴と華麗の氣に滿ちて居る▲而して此内に飾られたものは何れも始政五年間に於ける朝鮮の發達を語る事々物々である▲曾て寺内總督が赴任した時荒涼たる山川の模樣を眺めて「荒はてし此山川をいかにして我大君のむねに答へむ」と詠ぜられた事がある▲山は緒土ならざれば岩骨を以て掩はれ點々たる稻株は田中に散亂して河川に堤堰なく濁水湛えて遂に長大息し心あるものは竊に鑿つて禁じ得なかつた▲之れを指導せんとする者は直に荊棘を拓かねばならぬ大命を帶びて赴任した總督が此哀れな有樣を目のあたり見られた時は思はず此口吻のあつたのは實に察せらるゝ次第である▲然れども東帝國の皇威は赫々として聖露四海に洽ねく仁政一度朝鮮に及び聖旨を奉せる寺内總督が夙夜民心の開發を考へ殖産の振興に意を碎き▲事に當るものを督勵し時に自ら進んで成、平僻地の民狀を視察し或は怒濤を冒して海洋諸島に殖産工業を說き專念半島の啓發に盡され以て聖旨に答へ▲今年に至つて始政五年此の間に於ける朝鮮の發達進歩の跡は今回の共進會によつて悉く現はるゝのである▲出陳諸物に整然として現はるゝ其進歩發達は或は觀者をして驚倒さるゝに値するものも多々あらんも尙ほ百尺の竿頭一歩を進めて最う一と息と云ふものも多いのであらう▲『いかにして我大君の旨に答へむ』と咏せし總督が綠山清水今日此結果を齎らせしに對しては洵に遺憾ながらんも更らに進んでより以上に益々成果を舉げん事を期せらるゝに違ひない▲昔時源義家は大命を奉じて東夷を征する事前後兩回今我頭髮半白し更らに之れを行へば悉く黑きに至らんと嘆じた事がある▲其れと之れとは遂ふけれど總督も亦義家の感があるのであらう。

旅中より 大塊

井上侯の危篤を聞き東上途中侯の訃に接し
憂きの旅務に隱るゝふじの峯

朝刊と合せて十二頁

定價 一部金二錢 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾五錢 六ヶ月金三圓八拾五錢 一ヶ年金七圓六拾錢（郵税共）

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別廣告… ▲一行は二號活字三號活字同樣 ▲一行は五號活字同樣

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 松口政太郎 京城大平通一丁目

發行所 合資會社 京城日報社 電話編輯局長二四五 營業局長一二〇 振替口座京城三〇〇番

京城府告示第一二號

大正四年度京城府歳出豫算中左ノ通更正ス

大正四年九月十日

朝鮮總督府京城府尹 金谷充

記

大正四年度京城府歳出更正豫算

歳出經常部

第五款 汚物掃除費 金拾貳萬八千八百參拾壹圓

第二項 汚物掃除人夫料 金八萬五千貳百參拾貳圓

第十五款 豫備費 金六千八百七拾六圓

經常部合計 金貳拾五萬七千貳百五拾參圓

歳出臨時部

第三款 土木費 金貳萬參千四百六拾貳圓

第一項 道路橋梁費 金參千五拾八圓

第二項 溝渠費 金貳萬四百四圓

第四款 傳染病院費 金五百拾壹圓

第五款 汚物掃除費 金八百七拾五圓

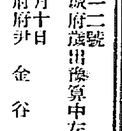
第六款 墓地費 金五千四百四拾圓

第十款 居留民團費 金九拾八圓

臨時部合計 金五萬六千九百五拾參圓

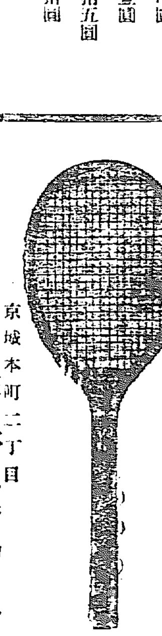
雜貨洋服 仁川本町 京阪洋行

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切を旨とし御需に應じ候 京城日報社 寫眞製版部



寫眞器材料商 京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二二〇番

臨時宿營業開始 共進會開會に際し觀覽客の御便利を計り宿泊料は特に規定の半額とし尚ほ觀覽案内者を附隨せしめ可申候間陸續御投宿之程伏て奉希候 御料理 龍山 和歌の家 電話三八番



運動具は京城レノサキに有り 秋期カタロク進呈 京城本町二丁目 篠崎運動具店

最上薄口醬油 生揚印 發賣仕候 永登浦 大塚醬油釀造所

眼科内科 小兒科 入院隨意 京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三） 本田醫院 院長 本田建義

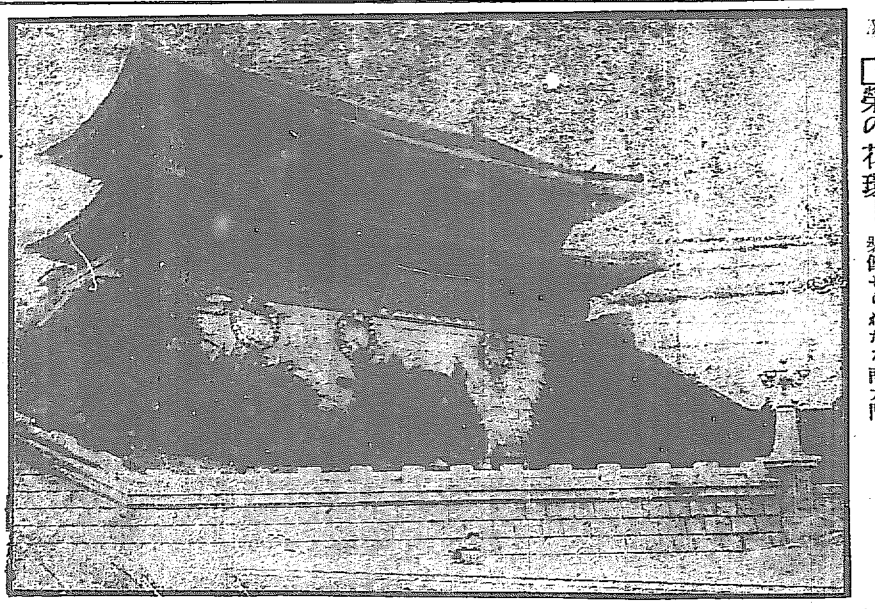
朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著 朝鮮語會話 特價金七拾錢（但前金に限る郵税中受領） 袖珍三百二十餘頁定價金八拾錢 郵税六錢

本書の內容目次 第一編 諺文 第二編 單語 第三編 變化 第四編 會話 第五編 譯法及試驗問題集 附錄 類語 小集 同基礎會話

發賣預告以來申込者非常に多く初版賣切近し至急御申込ありたし御注文次第送本す

發行所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番

大取次 日韓書房 大阪屋號 嚴松堂 修文館 各地支局及出張所



□榮の花環——裝飾せられたる南大門——

歡聲の巷よ
景氣立つた市中
共進會場は戰場のやうな大騷ぎ

俥が走る、自轉車が飛ぶ、荷馬車が急ぐ、正服の人、白衣の人、詰襟、背廣の人、法被や半袴の輕裝の人、それが何れも街に溢る樣に歩を運ぶ、藝者連の俥が列を爲して續く昨日までの雨が兎に角止んで雲の切目から時々日の光りが射す、十日の朝いよ〳〵共進會開會のその日、號砲の轟き、各工場の汽笛を合圖に一般觀衆を迎へる十一日の午前十一時——その時まで後廿時間餘を餘すばかりと爲つた光化門通りの賑ひ、場内の整頓、最早開會したのかと思はるゝ程、光化門は中央と東の扉を閉ぢて今日は西の小門一つが開かれてゐる、一號館前の噴水を眞中にした廣場は人夫數十人で掃除と片付の最中、鐵道特設館には紅白段だらの帷を張つて館内の整備を示し四五人の女看手が空を眺めて居る、審勢館内は昨日とは見違ふ程に取り付が進んで二三道の外は帷を下して仕舞つてゐる、第二號館に入ると仁川港の築港模型前では寫眞を撮影して居るのを取り卷いて係員が山と集つてゐる。

朝鮮の航海模型では燈臺や航行中の各汽船に電燈を點じ沿海航路の大型汽船が試運轉中、何方に振り向いても整然と陳列を終つてゐて係員は少しの手落ちも無い樣にと額の一寸した曲りをも一々直してゐる

△女看守は赤襷 甲斐々々しく塵拂ひをしたり出品物に白布を覆ふたりしてゐる、參考館も營林廠特設館も機械館も白筋の厳しい守衞と看手をして内外奇麗に取片づけられてゐる、美術館は堅く扉を閉したまゝ、第一號館の東口から入ると塔の中に牛の繪が年度別にした生産額と一所に下から上へ流れて廻轉してゐる、その上の燈臺に爲つた所には穀産々額の年度別にした表が廻轉してゐる、之れも試運中らしい、二三日前までは足の踏む所も無いまでに取り散らされてゐた館内は彼方此方に木箱が一つ二つ轉つてゐる位のもの勸政殿の裏口に出ると思政殿内の博愛館も女看手が二三人居る丈、赤十字の色鮮かに

△各種の出品物が巧みに陳べられてゐる、隣の警備詰所には警部や警官が帳簿を前に首を鳩めてゐる、それと向ひ合ひの廻廊を爲した部屋の一つからは女看守が絶えず出入りしてゐる近よつて見ると『女看守詰所』『女看守の外入る可らず』と二樣の札と紙とが掛つてゐる、慶會樓の方に出ようとすると左側の矢張り廻廊の一部屋に刑事探偵の一群が控えてゐる、慶會樓前の一宮殿は各種料亭の出店と爲つて大きな看板が揭げられ客を呼ぶ用意をさ〳〵怠りない協贊會の

△廣告塔の下には京綫道の休憩所が立派に建てられてゐる、相撲館は雨で一寸工事を止めてゐたが今日は大急ぎで行り上げると力んでゐる、之も殿堂の一つを當てた協贊會事務所の中には帳簿を前に役員の一人〳〵が引切りなしに來る客の應接に寸時もない有樣、そこへ妓生の飾り立てた一連を乘せた俥が走り込んで演藝館に向ふ、右胸に付けた孔雀の尾、黄、紅、紫、水色、青、綠と七色を思ひ〳〵に彩つた姿の美しいこと、奇麗なこと、演藝館では

△藝妓の試演中 とあつて三味と鼓の音が華かに響く、中を覗く協贊會の餘興係の人や、藝妓、妓生組合の人々、俥夫、その他で中央見物席は既に滿員の盛況だ、漢陽門を迎えて迎秋門の方に出ると門内の兩側に並ぶ各賣店も大童の態で開店の用意を急いでゐる、こゝの門にも俥の列が客を待つて拔目なく出て來る人を呼んでゐる

□家庭博出品不思議の鏡——顏が長くなつたり短くなつたり——

何處も目の廻はる忙しさ

朝鮮空前の物産共進會並に我社主催の家庭博覽會は愈々十一日より開かれることになつた、明日開會と云ふ十日の市中は上を下への混雜、盆と正月が一時に來た程の騷ぎ生憎の雨が八九の兩日降り續いた爲め多少準備を遲らかして居た向は前夜來の

△雨名殘なく 晴れた十日の早朝から大急ぎで裝飾其他の準備に着手して居る樣は見るから忙かはしい南大門驛前の廣場の修築は未だ工事完成せず十日の日一日中には仕上げんものと數十名の人夫大急ぎで工事をやつて居るが仁川水族館の標示を入口にした驛前の團隊客休憩所は全部出來上つて薄紅を帶び初た蔦蔓に其裾を蔽はれて居る南大門には奧床しい『祝共進會』の額を見ること美々しい花輪が其裏表に掛けられて遉がに李朝最初の古建築も美々しく飾られ居るその前に新設した東亞の飛行機格納庫は

△紅白の縱幕 に煙草の標本をあしらつたのは人目を惹く上に人氣をそゝり立てる大平町通り入口の綠門は雨の爲めに工事を遲らし十日の朝からは大急で建築して居る南大門通りの傘提灯は規律正しく模範道路を飾るには洵に相應はしく、北米倉町には町内三箇所に提灯の大門を作り旭町では各町内に六箇所に提灯の大門を建てるに忙かはしく長谷川町は兩側に提灯を立て連ねる計畫で既報した本町通り各町の裝飾門も今が建設の最中で狹い道路上の空間を縫ふた無數の百燭燈は夜の美しさを偲ばせて居る明治町は中央の十字街に大裝飾門を建てゝ居り永樂町にも提灯の門が出來て居れば大和町二三丁目は大稱發務總監部の前から二三丁目の境目巡査派出所前、新町の入口等に大提灯門の新設中で十日の市中は何處に行つても目の廻る忙しさ、斯くて今日一日明くれば十一日その日の賑かさが今日から偲ばれた

家庭博覽會
すつかり準備が出來ました
皆さんお待兼の幕は十一日正午に開きます

午砲一發、快晴の秋の空に醞然として響き渡るその時十一日の正午を以て吾が家庭博覽會は愈々その帳は切つて落される、開會と同時に正門上の音樂室から奏する劉喨たる音樂と共に一般の入場を願ふ事になつて居ります

開場時間

會場内に於ける總べての設備は全く出來上つて各館共に出品物の陳列、配置共に遺憾なく整うて觀覽者の入場を待つばかりであります、開會の時間は開會當日は正午より午後五時迄でありますが夜間開場の行はるゝ場合の外は日曜祭日を問はず毎日午前九時から午後四時までゞあります

入場料

入場料は平日にあつては一人十錢日曜祭日にはその倍額二十錢です、但し十二歳未滿の方並に軍人はその半額でありますが本紙の購讀者であつて優待券の配付を受けた方はその券をお持になれば所定の期間十三、十四、十五の三日間無料で御覽下すつてよろしいのであります

御案內

會場は何誰がお出で下すつても直ぐ判る樣に秩序立つて設備してありますが尚ほ此外數十名の守衞女看手が各館に配備されて居りまして老人子供などで判り難い方に對しては叮嚀に御案內致しますのは勿論、博覽會出品その他の事について御用の方は階下四號館と五號館の間にある事務所に御紹介下されば分ります

即賣品

會場内に出品されたものゝ内で參考品を除き即賣される品物は大分あります尚ほ會場外の庭園、娯樂場には休憩所、賣店が出來て其處ではビール、サイダー、紅茶、コーヒーなどの飲料果物などもあり家庭用品なども賣つて居ります、本會の役員、顧問贊助員の方達その他のために貴賓室の設けもあります

歡迎々々

茲に改めて繰返へすまでもなく現代人にとつては先づ何を措いても必要な家庭問題それが理論の方は別として何處までも實際的に眞面目に研究される、家庭博覽會、日鮮家庭の模樣を寫し出した家庭博覽會——苟も家庭の人であり、家庭の人たらんとする方は御覽下さる事を切に希望いたします

□舞姿——十日午前十一時演藝館にて新舞踊稽古——

景品風船
家庭博勞頭の餘興
景品總額一千餘圓

家庭博覽會開會の十一日、共進會家庭博の觀覽者が出盛る午後一時頃博覽會の高塔を仰ぎ見ると百尺餘の秋晴の碧空を掠めて飄々と舞つてゆく商空から赤、青の護謨風船が數百個くのを見るであらう、これこそ家庭博覽會開會劈頭の餘興でその風船の落行く先や何處?風船に下げた紙には景品がついてゐる、これは京城南大門通りに出張所を有し岩瀨氏を主任として居る仁川高杉醬油釀造場が吾が家庭博覽會の擧を賛して大奮發を以て此の空前の餘興を提供したものであつて風船に附いてる景品は

▲一等醬油『最上』小樽十丁三十五圓▲二等一圓引五本五圓▲三等五十錢引十本五圓▲四等三十五錢引百本三十五圓▲五等二十錢引百八十二本三十六圓四十錢

十一、十二の兩日放揚する外その後十九、二十二、二十六、十月三日、十日、十三、十七、二十四、三十一日の日曜祭日に飛ばすのであるが此の景品總額は一千餘圓に上り拾つた人には拾つた日より向ふ三十日間内に景品を南大門通りの出張所で引換へる事になつてゐる

消毒防臭はアイセル

●十一日の天氣は大丈夫だ

共進會開會當日十一日の天候は大體曇天一時晴れの見込なり 過日來京城方面を襲うた低氣壓は今は北滿洲方面にあつて漸次北方に進行しつゝあり又高氣壓は南支那揚子江方面に發展し其の間大連附近に極めて小さき小低氣壓あれども憂ふるに足らず此の分なれば大體曇天にて降雨を見ざるべし（京城測候所談）

●郵便物不著 關釜連絡船不著の爲八日夜の內地郵便物は到著せず從て八日夜配達すべき內地便は不配達なり

●一網に打盡す

去八日午後三時四十分頃京城吉野町[illegible]踏み込み一網打盡に左記の賭博犯人を檢擧し併せて其の場に散亂してゐた現金十一圓及び賭博用の花札外す[illegible]に其の筋の目を晦まし賭博を常習にしてゐたものであるといふ其氏名は次の如し

博徒張見張人河本文一（三十三）▲香川縣多度郡多度津町門前川端吉野町一丁目百十四番地川西熊次内縁の妻宮武まつゑ（二十六）▲岡山縣久米郡佐瓦[illegible]村字中島吉野町一丁目田淵彦四郎[illegible]

[illegible]地に一[illegible]圓の工費にて學術圖書館[illegible]何れかに寄贈すと（大阪特電）

營業課目

船具、金物、鐵道、鑛山、土工建築材料、ペイント及油各種
天幕雨覆製作、朝鮮苫有
直輸入品ハバクスペイント類及各種ロープ類ハ戰亂ノ爲メ暴騰致居候處特ニ相働キ御用ニ應ジ可申候
總督府認可船燈救命具信號器販賣所
近江帆布株式會社朝鮮一手特約店
大阪小森製鎖塲製品朝鮮代理店

村谷吉藏本店 仁川本町一丁目電長五六振替京城五九
支店 義州印刷所 平安北道義州城內電長二二振替京城九八一

食料品雜貨 京城旭町一丁目（電話八四二番）
食料品 果實 寄物 海産物
果實 寄物 問屋 岩城馨商店 南大門市場卸部 振替口座京城（二〇八番）

醇良清酒 白鶴
増本酒店 仁川本町三丁目 電話一一九 振替京城一〇八九

共進會門鑑寫眞 金三十錢
早くて安い一時間寫眞 ひるに劣らぬ夜間撮影
京城寫眞館
本館 南大門通三丁目 電話一〇四〇番
分館 永樂町二丁目 電話二三四九番

西洋料理 カフェータイガー
白木同樣出張所仕候間御引立願上候
キリン生ビールと五色の酒
南大門通三丁目 電話二五七一番

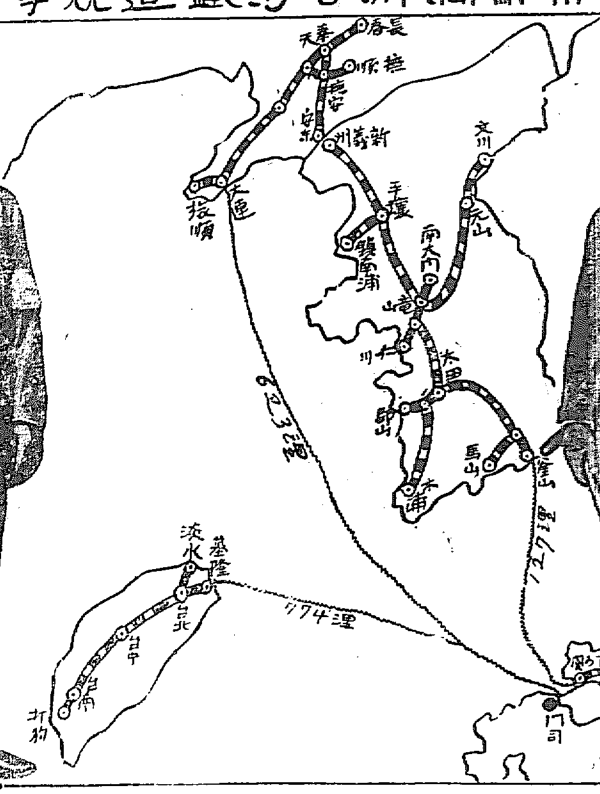
抹茶會席 松秀庵 白水
共進會場內慶會樓前修政殿に出張所相設け居候間是非御立寄り願上候
旭町一丁目公園下 電話一三七九 一一四番

可愛い御子方の
むしけ、かん、ちゑねつ、ひきつけ、夜なき等の特效
小兒に宇津の救命丸
本舗 東京府下 宇津
價 三十錢 五十錢 一圓

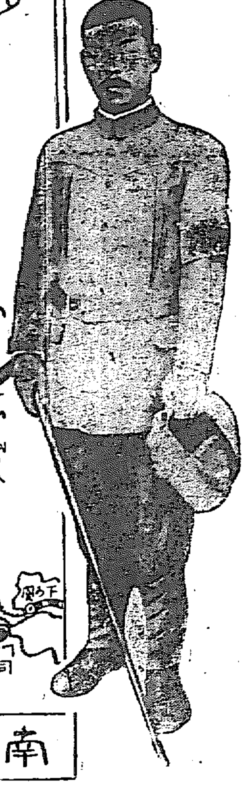
內科 小兒科 入院隨意
多々見醫院 京城日出小學校前
院主 醫學得業士 多々見五郎

鐵道大競走選手 十一日午前八時半南大門驛出發

朝鮮滿洲台灣鐵道競爭



南北選手通過海陸地圖



朝鮮滿洲臺灣鐵道大競爭選手は愈々明十一日の午前八時半發南大門發列車で出發する事になりました是れ昨紙記載の通りもう追ひませぬ選手の通過證明を得て來ねばならない驛名は左の通りです上圖と對照して充分に御承知置き下さい

▲通過證明驛

●朝鮮鐵道局線 釜山、馬山、木浦、群山、仁川、文川、南大門、鎭南浦、新義州

●南滿洲鐵道會社線 安東、奉天、撫順、長春、旅順、大連

●臺灣鐵道部線 基隆、臺北、淡水、臺中、臺南、打狗

▲選手

上圖向つて左側 南行 別府八百吉

上圖向つて右側 北行 神崎憲一

▲補缺選手

南行 蒲生隆宏

北行 難波英夫

補缺選手は選手が競走中途中で病氣其他の事故の爲め競走を續ける事の出來なくなつた場合に競走を續ける爲めに設けて置くものです

▲懸賞

各鐵道を踏破して右兩選手は幾百幾十幾時間幾十幾分で再び南大門に歸へり着くか之を甲の問題とし、更に南行選手別府八百吉、北行選手神崎憲一兩名はいづれが先に南大門に歸着するか之を乙の問題として洽く讀者から答案を募集し甲の的中者(適中者の無い時には最近適者)から順次左の五等に分けて賞を贈ります

一等 三本 金二十圓宛
二等 五本 金十五圓宛
三等 八本 金十圓宛
四等 十本 金七圓宛
五等 十五本 金五圓宛

更に乙の適中者には五百人を限り五十錢以上一圓以下の物品を贈呈し升

▲投票用紙

投票用紙は三日、五日、十日の三日間に刷り込みました甲乙兩樣の用紙の區別があり一人一枚の投票と限りてありますから其お積りで間違ひの無い樣になさい鐵道局や南大門驛や郵便局やに送つてはいけませぬ京城日報社にお送りなさい「鐵道競走投票」と表記して。

●安州炭坑の發展

京城總販賣所の新設ご……採炭增加計畫……炭質頗る良好

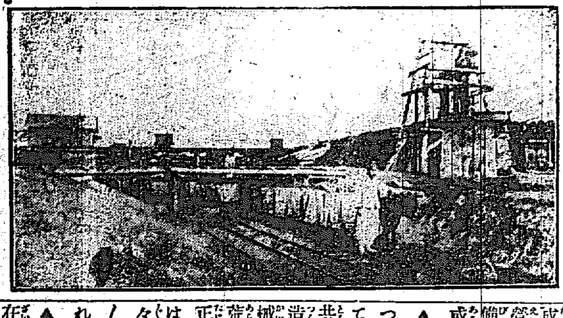
明治鑛業會社經營の安州炭坑は朝鮮唯一の有望炭坑で其の坑主は安川敬一郎氏朝鮮支店長石渡信太郎氏而して炭鑛主任は抽木吉之助氏である

▲炭質頗る良好 安州炭坑の炭質は火力稍々弱きも一種獨特の優良質を含んでゐる乃ち其の他炭に優る點を擧ぐれば(一)輕くして取扱ひに便從つて量も多い(二)價格低廉(三)燃消爲め煤煙少なし(三)燃消爲めに瓦斯乃はち金糞の如きものを殘さず(四)耐火力木炭に劣らず(五)一旦燃えたるものは灰中に埋め置くも消へず(六)火力適度なるを以て危險なし等で要之安州炭は弱勢の火力本位ならざる機械工場及びストーブ用火鉢用溫突用として最も適當の石炭である

▲安州炭の販路 現下安州炭の販路は京義線京元線一帶に及んでゐるが個人需用の外大口としては大倉發電所の一萬噸を初め三井從川鐵山同輕鐵遂安金鑛は交涉中に屬するものあり而して本年度よりは特に京城總販賣所を開設し大飛躍を試みるべく夫れ〳〵準備も整のつてゐる亦一般が同炭の眞價を知らば各工場及び鑛山より大口の注文も增加するであらう尚ほ同坑では昨年迄本社の方針により販路の擴張に重きを置かず採鑛に努めてゐたから安州炭は全鮮に及ばなんだのである

▲採炭力ご炭量 安州炭坑目下の採掘量は特に一晝夜僅々百噸に止めてゐるが茲は採掘準備採鑛時期たりし關係上掘進主義に依つてゐたからだ現狀の設備の儘にしても一晝夜優に五百噸の石炭を採掘し得べく更に一朝需要擴大せんが同坑十二尺層も同時に採掘するを得べく設備の完成に伴なひ一晝夜の採炭千噸二千噸に及ぶ事は難事でない亦同坑では見込なき鑛區を本年度に於て整理したが尚ほ八百萬坪の礦區を有し炭層は十四尺十二尺六尺八尺(現採掘中)三尺の五層であるから一日千噸の採掘をなすも尚ほよく百年以上の壽命を保ち實に炭量無盡藏と云へる

▲排水で灌漑 現在安州炭坑坑内の排水力は一分間約三十立方呎の水を揚げると云ふから乃ち一晝夜の排水量積算は七千石內外に及ぶので炭坑では排水路を特設してあるが



安州炭坑の(一)

意外にも此の排水が有名な安州平野乾田の一部に惠みを施し今日の所約二十町歩は立派な水田となつてゐる爲めに地主は喜ぶ地價は騰る其の餘慶は大變だ尚ほ炭坑では之れから事業の擴張を行ひ排水量を數倍に達せしむると云ふから從つて水利の恩に浴する地主も增加し良水田を得らるゝ譯で宛然炭坑が水利組合を兼ぬる樣な次第だ、尚ほ安州炭坑目下の運炭は主として清川江を利用し炭坑より江岸迄は軌道を敷設し積込場で帆船に移しつゝあるが採炭增加に伴ひ安州驛及び萬城驛に達する鐵道を布設するに決し何れも測量濟みとなつてゐる

安州炭坑の(二)

●平壤の清水鐵工所

西鮮斯界の雄者

平壤の目拔き大和町の中央に大きい金物商があり其の後方に煙突高く聳へ常に黒烟を濛々と吐き槌音絶へ間なき工場は西朝鮮鐵工界の覇者清水龍藏氏の營業所である、氏は鳥取縣の産れ夙に郷國を出で三十六年鎭南浦に足を留めたが日露戰後基礎漸く成るを待ち平壤現在の處に店舗を經營する事となつた近頃氏の工場の設備一層整ひ大活躍の途にあると聞き或日訪づれて工場や製作品を觀る

▲新著の諸機械 は記者の入つた時盛んに職工の手により運轉して居た洗盤は動力により凄い音響と共に瞬く間に鐵板に穴を開け器械を造る傍らのシカル盤では細々しい器械を製造し多くの職工眞黒になつて荒削りのものを仕上機械にかけ鑢面正しく見事に仕上ぐる一方の職場では大きな鐵線が譯もなく料理され種々な形に撓じ萬力の前に運ばれガリ〳〵と鬩ゆる鎚音と共に一々整理されて終る目下此の工場に製作中の

▲精米機は進歩 せるもので在來の機械に比し卓越せる點が少なくない然し之は未だ解剖的には公表出來ないから茲には略するが完成の曉き精米業者の蒙むる利益は蓋し少なくないであらう目下頻に發動機の製作を計劃してゐるから早晩新式な機械が産れる事と思ふ亦同工場の手に成りし平壤地方法院倉庫門扉の金具は創意伸々立派なものであると云ふ、目下同工場主要製作品は建築材料土木工事架橋用具汽機汽罐の製作修理据付及び諸機械の鑄造からベレースと云ふ機械ではシャベルを製作し之れ等は到る所歡迎を受けてゐる清水鐵工場は百坪餘りで多少狹隘の感あるも活動家たる同氏は四十名からの職工を旨く操縱使役し總べてが整頓し秩序立つてゐる從つて仕事も捗る亦職工は自動的に働らくと云つた風の所が多いで品物を注文する方でも安心して賴める譯である西鮮は今後各種の事業殊に鑛業が隆盛に成り行かうとしつゝある際だから斯うした鐵工所の存在は喜ばしい尚ほ職工の待遇も大分研究しつゝあるものゝ如く一年二回精勤者に對し金員を贈つてゐる尚ほ氏の商品は金屬一切ガラス板類諸機械附屬品等大部分を占めてゐるそれから同鐵工所は今秋の御大禮を記念として何等か新機軸を出せるものを製作發賣せんものと目下考案中だから出來の曉は定めし見物であらう

滿鮮境上より

九日發 安東縣特派員

▲安東の近來作 安東縣附近に於ける最も出來榮えの善きは安奉沿線湯山城附近にして此方面は近年の豐作と稱するを得可く五龍背、鳳凰城附近より鴨綠江下流大東溝、太孤山方面も亦概して良好なるが只だ蛤蟆塘の奥地傍房地方のみは甚だしき蟲害を被りたるを以て著しく收穫を減ずる見込なるも全般を通じて云へば平年作と見るを得可きに依り前記各地方より安東縣への出廻高は約六萬石內外なる可しと豫想せらる

▲採公流筏近況 鴨綠江上流に於ける採木公司各分局の流筏近況を聞くに通化分局及び朝鮮山各分局管轄の流筏は己に全部の啓筏を見、十三道溝分局及び長白分局管轄のものは目下尚ほ流筏中にして上流の啓筏は本月二十日前後を以て終了し安東着筏期は十月中旬頃となる可し鴨綠江の水量も漸次減少せる今日日本式筏は澁滯なく流下し得るも支那式筏は途中に停滯し尚ほ一回の增水を待ちつゝあるもの如し而して本年度一般支那式筏の到著數は既に三千臺餘に上れりと云ふ

▲滿洲米改良法 滿洲米は朝鮮米に比して品質著しく劣り之が爲現に玄米一石に付一圓乃至一圓五十錢方の安値を保ちつゝあるが之が原因を尋ぬるに一は滿洲に於ける水田の多くは何れも多くの年所を經ざる所謂新開墾地なるとも亦多大の關係を有するも一面種子の選擇に注意を缺き耕作法及收穫法の不完全なる事其の甚大の關係を有するものなるとも亦盲を俟たざる所なりとす我安東米穀商組合にては茲に見る所あり滿洲米改良の急先鋒として先づ安東縣附近より之が改良に着手せんとし達磨商會主藤熱心盡力の結果巻當り前記の理由を問答的に支那文を以て認め約五千枚を印刷に附し本月八日より附近一帶の農民に之を配布しつゝあり因襲の久しき且彼等土民が見て以て最も便利としつゝある方法を今日俄かに改むることは容易の業にあらざる可しと雖も斯くの如くにして熱心啓發指導に力を致さば漸次改良の曙光を認むるに至る可く延いて滿洲米發展の爲祝福す可きことに屬す

▲鎭守使更迭說 東邊鎭守使馬中將は近く內務に轉じ後任として奉天第二十七師馬隊第廿七師團長張毅五氏任命さる可しと傳へらる

▲方道尹辭職說 東邊道尹方大英氏は曩に一時辭任說を傳へられたるが今回又復辭表を提出せりとの說あり

▲平北鮮人觀覽團 朝鮮共進會觀覽の爲平安北道各郡より鮮人觀光團左記の日割出發の豫定なり

九月十四日	慈城郡	二十四名
同	厚昌郡	二十七名
同	渭原郡	三十五名
十六日	江界郡	六十五名
十八日	楚山郡	七十一名
二十日	碧潼郡	五十四名
廿三日	朔州郡	八十二名
廿五日	昌城郡	五十名
廿八日	義州郡	百五十名

▲採公事業計畫 採木公司にては例年の通り遠からず上流各分局長を召集し來年度事業計畫其他に關し事務打合會を開く可し

▲採公副理事長 東上中なりし村田理事長及崔天出張中なりし鐵理事長は何れも八日歸任せり

商況

東京株式特電

銘柄	九日前場寄付	大引
日本郵船	八九、六〇	八九、六〇
日韓瓦斯	……	……
同鐘紡績	……	……
同上新株	一一八、四〇	一一八、四〇
本日參酒	……	……
東株第一	一五一、九〇	一五一、九〇
東株第二	一五一、五〇	……
東新第一	一二六、七〇	一二六、四〇
東新第二	一二五、八〇	一二六、〇〇

東京期米特電

十日前場	十一月限
寄付	一二、五五
高値	一二、六七
安値	一二、五二
止め	一二、五四

債券現物特電

東京	九日出來値段	前日との比較
東洋拓殖	……	……
日韓瓦斯	……	……
朝鮮銀行	……	……
朝鮮瓦斯	……	……
南滿鐵道	二四〇、〇〇	……

深川在米特電

十日	
朝鮮米	四六、八四二
盤商米	五一、三八四
內國米	一八六三、五二三

東京公債直取引

	十日出來値段	前日との比較
五分特別	七九、八〇	……
五分甲號	七八、八〇	……
一圓四分	九四、一〇	……
二圓四分	……	……
五年分	……	……

大阪三品特電

十日前場	寄付	大引
九月限	一〇八、一〇	一〇八、五〇
十月限	一〇九、四〇	一〇九、四〇
十一月限	一一〇、六〇	一一〇、八〇
十二月限	一一一、七〇	一一一、九〇
一月限	一一三、二〇	一一三、二〇
二月限	一一四、九〇	一一四、八〇

大阪株式特電

株	拂込額	十日前場止値	同日後場止値
宇治川水	四〇、〇	五五、七〇	……
神戸電鐵	三九、五	……	……
京阪電鐵	三九、五	……	……
和歌山紡	三五、〇	……	……
合同紡績	二八、〇	……	……
尼崎紡績	四〇、〇	一二八、四〇	……
同上新式	三五、〇	四三、五〇	……
東洋製罐	三五、〇	六八、七〇	……
大阪商船	四〇、〇	三三、二〇	……
日本郵船	四〇、〇	……	……
大阪米穀	四〇、〇	……	……
東京新株	三五、〇	……	……
大阪新式	四〇、〇	……	……

大阪期米特電

十日前場	寄付	止め
當限	一二、三六	……
中限	一二、四六	……
先限	一二、六九	……

下關期米特電

十日前場(作柄惡觀)

	當限	中限	先限
寄付	一三、一五	一三、一九	一三、五五
高値	一三、三六	一三、四八	一三、二九
安値	……	……	……
止め	一三、五〇	一三、三〇	一三、四〇

雜報

●冬織物近況 大阪の冬織物の取引狀況を報する處によれば機業地より冬物仕入を爲し終るの常なるに本年は今に至るも尚は其終結を見るに至らざる由なるが斯く問屋の仕入の遲延しつゝあるは此の冬物季節に於ける各地方の需要の趨向測し難きに依るものなりん尤も一般問屋側の地方に對する取引狀況より見る時は本年さても地方人の織物に對する需要は必ずしも多大の收縮さ見るべからざるものあり即ち問屋側にて資金の回收を顧慮せず貸付け行かん品は相當に捌け口ありとの事にて是れ一面に於て貸賣りならば需要ある意味するも なるが地方人が本年特に掛け買ひを希望する傾向あるは云ふ迄もなく米價の關係より來れる現象にして而ても一般農民は何彼も掛け買ひと爲し置き米價の騰貴

●冬羅沙弗々荷揃 冬羅沙は漸く前部品揃ひとなり見本も既に七八分方出來し早きは夙々取引を見つゝあるが氣配は破風後の價格暴騰によりて問屋側の手元に於ては何れも多少元價の割高を示しつゝありと雖市場取引は

期輸入の色柄を除く外無地物及新地物は前年と同格を維持し一ト先づ左ヘ多少の割安を唱へられつゝあり今後の成行きは未だ見當立ち難きも昨年來毛織物の價格暴騰の爲によつて一般需要に惡影響を及ぼせしも其實市場取引としては一部特種品を除くの外格別の變動なく羅沙地の暴騰も單に向業者間の鞘のみにして

等の影響を及ぼし居らざりしものにして今日に於ては需要者も漸く之等の事實を認めつゝあると且つは共進會開催中の市間接の好影響もあれば漸次人氣の引立つべきは當然なるべしと

なく從ちて之を返濟せんとするより地方の小賣商と需要者との間に自然取引の遲延を來し從つて都會の問屋さ地方小賣商との間の取引も亦遲延を免れざる振合なるが如しと

●清酒冷卸前氣配 內地酒は東京方面の好況なると御大典を控へ益々活氣を呈し殊に本年は氣候の關係上腐敗酒多かりし後とて酒は存外品薄の模樣にて灘酒の如き最近更に十五圓高を報じ戰に付一樽に付き二〇位騰物之れに連れ漸次好氣配を示しつゝあるものゝ如し來る冷卸の實出狀よりすれば灘酒の現

圓の上鞘を免かれざるも九州局組合の協定値上げは一圓五十錢位にてまるべし

●セメント漸騰 各會社共目下製品に追はれつゝある際とて此路許入荷も引續き捗々しからず市場は在荷拂底勝にて一般需要に應じ難れつゝある模樣なれば各販賣店は漸次賣腰を强め既報値上後更に十錢乃至十五錢高を唱へ昨今小野田の四圓見當なりといふ

●生果類好況 生果類は頃日來の天候不良に賣行き鈍狀を呈し居れるにも拘はらず風雨の爲め各産地の出廻り激減せしこと共進會にて人氣は頗る良好にして小口荷は何れも相場としては大部酷林檎貌七八十五錢入一圓七十錢八十乃至百一二十五錢入にて平均一圓三十五錢朝日六七十錢

下關相場

△朝鮮米は變らず 其後朝米の沸騰に產地よりは幾分蕪かりの情報を傳へ居ろも何分內地正米との比較上買人の高値は望まざるに依り現物賣行き捗々しからずして割に市況引立たずと之れが弗々の出來値は左の通りにて其後の輸入は白米三百五十俵なり

△小豆は綱保合 本品は頃日來稍安に逆れ買人一般警戒し居る爲め現角賣れ行き鈍情にして市況面白からず然れども其後各地より異報を傳へずして別に投げ物的の賣り物現はれざる爲め整して市況狂はず

△大豆は弛まず 其後本山產五十俵寶川物百五十俵等の雜著に過ぎざるのみならず現角產地も安からぬ爲め手持節賣り急がざるに依り市況弛まず然れども昨紙已記の如き事情の下に於て賣人の高値は遠慮せざるに依り氣勢昇らず之れが弗々の出來値は左の通りなり

△朝鮮一等白米(當用)	十二圓九十錢	
△同 二等白米(當用)	十二圓六十錢	
△同 三等白米(當用)	十二圓三十錢	
△長端大豆上品	九圓	
△元山大豆上品	九圓二十五錢	
△同 上品	九圓四十五錢	
△端川糯米大豆	九圓七十錢	

市場零聞

▲十日前場 愈々波瀾多し △大阪前寄十二圓九十六錢昨止より二十七錢高の入電 ▲一節七十六錢と高移りに人氣沸騰し出來不申中八圓三十五錢先九圓四十錢さ二十八錢高は寄付たるも利喰に新規に賣物多く徐々に三十錢と下押した二錢と返し折柄大阪九節六十六錢と安移りに賣物續出したる結局十二錢と暴落し四錢と返したるも終局二十二錢と不勢の散會

△前場 中限△九圓三十五錢來高百石△先限△九圓四十錢八百石…

▲前場の商戰 [illegible]

▲上放れ跡瓦落 今前場大阪上放れを受け跡商高しとの市場に人氣一變し九圓四十錢に上放れに寄付たる賣物多く寄て二十九錢に見下るゝにつれ三十二錢と返したる折柄大阪跡安を入れたると二十錢と暴落

▲人氣賣逸る 開日來の大變動相場に買方の失敗を遁れたるさ不時の散會を告げたか今後如何なる變動を現出すべきや

▲暴落を演出 昨後場大阪の入電に接したる人氣は大氣投し來り大阪の跡安を入れて賣物續出した

▲遂に瓦落 賣逸れる人氣は寄な高値に際して益々賣物を入れて斯る人氣が持續するや否や大に注意を要する場合である

▲昨後場の大激戰 昨後場大阪の暴落を受けて九圓〇七

仁川期米

▲十日前場 [illegible]

仁川現物市場

△米 [illegible]

生魚市場

[illegible]

南大門の廻米

天安白米一九一叭長湍 … 天安白米八二叭鳥致院 … 沃川玄米 五四叭 …

▲新中白米 第二回目の入荷平澤產十四叭淺谷商店へ回著十二圓八十錢にて五島合名會社、井谷商店、近間商店へ賣買取組出來せり

各地商況

○釜山(九日の穀物) ▲正米(二十錢高) 二百二十日厄日前の天候は昨日暴風雨となり且つ九州方面多少暴風ありし模樣にて各賣人は小廻り稀商を唱へ一寸賣り放し難たる商狀にてされば買人の精米筋も前途尚は昇騰の見込立ちたるや本日は一般買進みの模樣にて氣配底に好況を呈せざりしながら移出向には引續き一向買望み人少なく氣配底意手堅き商狀を示し相場は二十錢高なり而して本米二千四百十二俵の取組ありたり何樣昨今は天候相場の事とて本日の模樣にては晴天となり回復せし樣子にて二百二十日の厄日は如何なる事なるや一考すべき時期なり

青物市場

[illegible]

郵船手堅し

北濱だより ▲郵船手堅し 海運界の前途は各汽船會社をして頗る好の成績を擧げしめ居れば郵船會社の如きも增資後の配當は八朱に減配すべしとは一般の豫想なりしも… [illegible]

堂島賣買殷賑

▲天候續て不良 昨夜來天候時々小雨を降らしたるより冷氣を感じ順調は不順を擬け居れり

▲被害の程度如何 先日の暴風九州より朝鮮を襲ひ北海道に於ても少多被害あり程度尙道は本米の出廻るべき時期に於て大切の場合多少の被害は見免れざる者の如く下關入電は又も作柄悲觀を傳へ居るが日一日と變化の趨勢を加へつゝあり

▲堂島賣買殷賑 期米市場は八、九、十の三箇月限を中心に賣買盛んなり…

仁川米豆取引所

十日の十一月限

平均値段	
一節	九圓四十錢
二節	九圓二十二錢
三節	九圓三十八錢
四節	九圓三十一錢
五節	九圓三十二錢

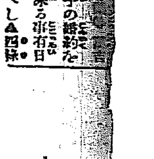
前場 寄附 九圓四十錢 / 高値 九圓二十錢 / 安値 九圓二十錢 / 止め 九圓三十錢 / 出來高 二萬八千五百石

	買	賣	取組高
九月限			三千百五十石
十月限			一萬七百石
十一月限			二萬五千六百石

	出來値	比較
寄附	九、〇七	三高
止め	九、一二	一〇高
高値	九、一四	二六高
安値	九、〇七	一三高

田中金物店 仁川港仲町三丁目 電話長六二八番 一五二番

三己貿易店 [illegible]



●住友家の寄附

住友家は往年中の島に圖書館建築費を寄附したるが更に茶臼山五百坪の…

[illegible]

大岡政談 越後傳吉

第百四十九席

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

多田新之助が馴染んだのは京町一丁目松葉屋の白菊といふ女、評判の全盛といひ心立といひ申分のない女でございます、新之助も色の白い男振の延つた今業平といはれる位の美男、初めて會ふた其夜から誠あかしの千鳥といふ大變な仲こ相成つた女の方でも新之助に一日逢はねば千日も逢はないやうに思ひ、男も同様、其時分の花魁の事で只今のやうに薄情でないから思ひ思はれるとなのやうに手紙が來るから迚も屋敷に落付いて居られません、日毎夜毎の廓通ひ、兄さんの三十郎が見發まして新之助を呼び 三『新之助チョイと來なさい』新『ハイ』三『ハイではない其方は此頃日々廓通ひをいたす、若年ではあり月に一度とか二月に一度とか申すなら格別此方も咎めは致さんが其方のやうに毎日毎夜甚だしき時は三日も四日も逗留して参る、世間の手前見逃して置く譯にいかん、

ると大したもの只今では女も薄情だが男も薄情 女『貴方のやうな親切な方は初めてよ、妾は誰も頼りにするものがないですからね、力になつて下さいな妾の前途は貴方といふものに依つて輝くのよ』なんて新らしい事をいふから野郎喜んで居ると大違ひ 女『ねエ貴方妾の熱情は色に表したら紅よ、玉にたとへたら若い血潮の結晶した紅寶玉よ、ですから妾の愛を表象するために紅寶玉の指環を買つて頂戴な』なんてすぐに慾張つた事を申します今の女は皆な斯ういふ工合で、そこへ往くと昔の女は思ひ思はれるとなると大したもの白菊も新之助に心底惚れたから勸め氣離れての待遇しをする、新之助も若年ではあるし、こういふ美人から毎日

父上御在世中ならば兎も角拙者が家督を相續いたした上は弟であるとて許して置く譯には相成らん、若い者の事であるから何故いつたとはいはんが以來足近く参つては相成らんから一應斷つて置く 新『恐入りました譏に何とも申譯がございません』三『ございませんが、何しろ一日でも顔を見せませんと女が癪を起しましたり何かいたすさうで』三『ナニ』新『ソレデ手前が参りますと新さん遇たかつたとこういふ工合で中々歸しません強て歸らうといたしますと新造に言付けて羽織或は紙入などを隠してしまひます花魁それぢや尹困る、家の首尾兄貴の手前があるから今日はどうしても歸らなければならない歸して臭れと申しますと女が涙含んでホンとに譯の分らない兄さんちやアありませんか、キツとお女郎買一つした事のない野暮な方に違ひない、犬に喰はれて死ねば宜いと……』三『コレ〳〵犬に喰はれて死ねば宜いとは何だ』新『コレはその譬言で』三『默れ怪しからん奴だ、何だと默つて聞いて居れば宜い氣になつて兄の前を憚らず手放しで惚氣などを申す不届至極な奴、勘當申付けるから左様心得ろ』新『コレはどうも御無理』三『何が無理だ、武士が兩刀の手前にも耻ちず、女郎の容色などを使ふ呆れた奴だ、屋敷へ置く譯にはならんからトツト出て行きなさい、親父に代つて勘當申付ける』大變な立腹、妻君のおさよが きよ『若し貴方、新之助殿もまだ年若でございますとういふ事は有勝、妾からまた意見をいたしますからどうか御勘辨を』三『エヽ引込んで居なさい有勝とは何だ、貴様からしてそんな甘い事を申すから新之助が付上つて兄を兄と思はん、モー何と申しても勘辨ならんからトツトと屋敷を出て行け』火のやうに怒つて居る、仕方がないからおさよ殿が陰へ新之助を呼んで さよ『まア兄上が大變な御立腹、今お詫をしてもお聞入がないから一先づ屋敷をお出なさい、妾が跡でまた能くお詫をして貴方を歸すやうにしますから永い事ではない、妾の實家の出入商人で神田佐久間町の八百屋の武助、親切者で正直な男だから一先其處へ行てお出なさい』と義理ある仲だけに姉さんが氣を揉んでお小遣やら著替の衣類を仲間に持たせて案内させる、當人一向平氣なもの結句氣樂でいゝと鼻唄か何かで八百屋の家へやつて來た。

本場 ちゝぶ銘仙 新荷着 京城本町二 ちゝぶや 電話八九〇 振替三〇二番

入院随意 京城南大門通三丁目(西本商店横入る) 胃腸病院 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

▲廣告▼

■わきがは良縁出世交際を妨げ人に不快を感せしむ即刻治療あれ

治癒新劑 わきが

■清液散は理化學上研究の一大發見の劑故奏効は實に偶神也諸藥の効なく困難の人一直試み給へ藥價一圓卅錢 輕症用八拾錢 重症用一圓卅錢郵券不便性用特製二圓半 送料各四錢郵券不苦着金直送る 本家名古屋廣小路通…小林盛大堂

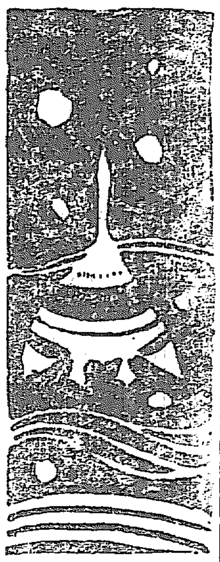
身體の滋養分が腐つて下る こしけは・女の命とり

追々涼しさに向ふ初秋の頃、婦人病者の氣が揉めるはこれからです、殊に腰足冷え性の婦人で始終こしけの下る方はこれから餘程御注意にならねばこしけのために不治の病となり優い一場の悲劇を生む事となります●から丈夫に見へてもこしけの爲子供を設され欲しい子供の出來ぬ方、又こしけのため半病人のやうに衰へた方は必ず局部を調べて御覽なさい、白いねば〳〵したもの茶褐色の下もの水のやうな下りもの又腐つた卵やうなもの中には薄桃色で肉の塊のやうなものなどが始終ジク〳〵下り腰部にしみつき何とも言へぬ不愉快な事が判ります、こしけはお承知の通り婦人病中最も質の悪い病氣で、この臭い下りもの〳〵するは皆身體の滋養分が腐て下りてしまう實に恐ろしい病で段々血がなくなり貧血性となり根氣が薄なるのも血や肉になる精分が腐てこしけとなる故ですから人生の快樂なく又こしけの下る婦人は必ず腰足冷い下腹張り、頭痛、眩暈、月經不順、逆上、根氣薄く昏倒などのするもので捨ておくと遂に一命を取れます故にこしけのために惱まれる方、又丈夫に見へて子供の出來ぬ方はアレやコレやと世間のマヤカシ文句にお迷ひなく貳錢切手七枚添へお申込になれば又は参錢切手十枚ばこし●け●冷い性、下腹張り、月經不順、肩凝り、頭痛、逆上、不姙症又お産前、お産後のいろ〳〵の病に服めばキツトきく治つた方が何より證據の靈藥二日分と親切に説明した秘密安全の治療書(百五十餘頁寫眞三十餘入)を差し上げます。

◎注意…大婦の試見藥かと●專門醫が協力して頭わしたる治療藥を遂るとか牡丹餅で顔を叩く樣な口實を言ふても火鉢のハヒをフリかけた様にカビの生いた藥で見本藥を遂る事の出來ぬイカサマ師の藥と違つて一番安心の出來る見本藥た是非お試しを願ひます

◎この通り責任を持った見本藥をお求めの方は實に徳なお方です

東京市芝愛宕山際田村町二 電話芝四〇四八番 篠原とめ子



(ミツワ文庫四〇九)

初瀬の觀音

中村雁治郎談

帝の御立願に依り徳斯祈願を成就す 吉備大臣靈驗に依り野馬臺詩を讀む

昔近江の湖に洪水のありました時、何處から流れて來ましたものか長さ六間四圍三圍程の楠の大木が大津の浦へ流れ寄りました、里の人が曳揚やうとすると不思議にも手を掛けた者は皆疫病になりましたので恐れて其儘に捨てゝ置きました。すると大和の八木の里に小井の鹿子と云ふ寡婦がありまして二親夫の追善の爲に佛像を造り度いと云ふ祈願を起し此楠の話を聞いて参りまして乞ひ請けて故郷へ曳かせて歸りまして佛師を招めて彫まうと思つて居ります内に病死をして了ひました。此に觸る者に祟がありましたので、その儘で數十年になりましたが又洪水の爲長谷川を流れて長谷に著きましたが觸ると祟が有りますので注連を張て捨てゝ置きましたが、徳道上人が長谷へ參りまして此楠を見まして里の人に由來を聞き鹿子の志願を果させやうと人夫を頼んで長谷山へ曳上ました直にも佛像を造り度いと思ひましても貧しい僧の身の上、自分一人の力には及びません楠の側に草庵を結んで旦暮力を助ける大壇那を得させ給へと祈念を凝して三年に及びました。或日藤原房前公狩獵の爲長谷山へ分入りまして上人の樣に木の由來をお聞になつて楠が不憫せられ、歸洛ありました後參内して此由を奏聞に及びました帝にも觀音の佛像をお造りにならうと思召された折柄でございましたので御聽許遊ばされて時の名佛師の賢文子、芥子國父子を長谷へお遣はしになりました。兩人丹誠を凝して二丈六尺の觀音を彫み上ました。さて臺座は何を以て造らうと父子額を集めて思案を凝しましたが決りません其夜一山鳴動して一夜の中に八尺四方の岩が現れ上面が平で而も佛足

を蔵せます處までありますので徳道上人賢芥父子奇異の思をし此偏に諸天の加護と歡喜踊躍し其岩の上に佛像を安置しまして此旨を奏聞に及びました。房前公が奉行で堂宇を御建立あり初瀬寺と寺號を下され行基僧正に開眼させられ帝には群臣を從へて參詣遊ばされました。此が彼の吉備大臣の信仰篤く、その靈驗によつて彼の野馬臺の詩を讀むことが出來たと云ふ初瀬の觀音でございます。靈驗と申しますと昔から人參は靈驗であると云ふことで之を得て親の病を救ひたい爲に身を苦海にまで沈めて贖めたと云ふ話は中々多くございますが此人參の科學の上から研究して其の有効成分を精製して錠劑としましたものがミツワ人參錠でございまして精神疲勞や筋骨の疲を早く治し度い人、精力を强くして元氣よく働き度い人、心臟や腎臟に病のある人に此度は實に奏効が確實でございます。此のミツワ人參錠本舗で發賣のミツワ石鹸は皆樣も御存じの通り日本人の皮膚の生理状態を研究して此に適しますやうに精製しました理想的な洗料で皮脂の分泌の多い皮膚の粗糙で荒れ易い日本人の安心して使はれる洗料は此のミツワ石鹸に限ります。

▲林長三郎曰く 頭髪にとりまして、大切なのは髪油で、此の宜しい宜しくないとで頭髪がよくも悪しくもなるものでございます。髪油さしてはミツワ椿油が此上のないものとしておすゝめが出來ます此は本場の内地の椿の實のよく熟したのを取寄せて皮脂を取去つて冷い法で搾取りました純良な椿油で常に用ゐて居りますと髪が發育がよくなり、艶が出て黑くつて美しい髪になります。

最上醤油 宮 金銀賞牌受領セシ 芳香風味天下一品 平壌 宮川醸造

演藝案内

壽町 壽館 電話一〇五〇 八月十日午後六時開演…東京師匠連選別演藝温習會△今様望月 石橋△娘道成寺△おどり三番叟△おどり世船神社 △吉原雀△おどり志賀山三番叟△新舞伎十八番勸進帳△元禄花見踊△七福神樂?… ◎京城藝妓組合、小券番、京城券番…

本町 御成座 電話一一九一 九月四日百八十九回目 ▲千葉の御引立を厚く謝ます來る九月十日より新派劇進歩團一行を招き開演致ます何卒倍舊の御來觀を乞ふ ▲登場人名 伊沢美次郎、石原東陽、桂木時夫、上一明、芳川秀夫、吉田操、寧井陸之介、富士雪孝、稻野郎之助、酒田君夫、菊池泰一、浪川二郎、白川一志、日野盛昌、小松木野子

明治町 浪花館 電話二六〇 ◎革新浪花節花川圓玉一行來る 今晩の讀物△大高源吾(一部一席)△水戸黄門記(腕倉巴)△姥捨山(京山福壽)△赤穗城明渡し「紀州竹若丸(二席花川圓玉)」

旗本と火消の衝突 尾上松之助得意の大活劇 舊劇 加賀鳶 新派喜劇 埃溜箱 泰西活劇 誤解 十日より新寫眞全部差換へ ◎大正館

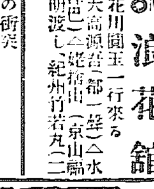
龍山 電話六四八番 佐久良座 東京新派劇大江義雄一行 ◎九月十日藝題 伊藤青々園氏作大悲劇「影法師」 ◎場割 寺田村境の辻堂前、同村船越之留守宅、南ヶ關之茶店前、石山桃子女史之塾、北海道月形小栗邸の庭園、札幌ホテル二階座敷、小栗邸先之東家、同邸門前之會合、同邸洋館之應接室、同邸の離れ座敷、北海道驛知事歡迎會 ◎劇科大勉強金十錢均一 ◎晴雨休みなし毎月午後六時開幕

黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館 大然色活動寫眞株式會社常設館 一手代理店 ●九月八日より寫眞全部差替 ○喜劇カプリーの妖 ○滑稽逃騎手の奇智 ○泰西軍事大活劇「戰友」○喜劇ピーターの射的狂 ○泰西人情劇アンブロージオ會社傑作「白馬」雨宮桃村説明、虚榮の權化たらんとせし田舎娘て人生生活の自然と相反するを厭ひ翻然悔悟して父母の膝下に逃歸し質朴なる田舍生活に一生を送れり ○薄幸の悲劇 全三卷 東洋現代の社界を活寫せる悲劇「妻の秘密」全三卷 見るの大寫眞なり

黄金町 世界館 電話一四三四番 本町有樂館へ移轉の爲休館仕候

櫻井町 大正館 電話八七三 九月十日より寫眞全部差換 ▲實寫歐米近事畫報 ▲泰西喜劇士產は女房上下二卷續き ▲滑稽恐しき咳 ○泰西美談「眷恩」最長尺 ▲零落せる音樂士は處女を伴ひて路頭に迷ひ俠の親切が一片の眞情は不幸なる親子を救ふ二十年後運命の變遷は貧富を轉倒せしめ其恩人に報ふ ○新派喜劇「埃溜箱」全五卷 ▲佛國パテー會社傑作天然色寫眞 ○泰西活劇「誤解」全五千尺 ▲隔てなき友情は戰爭の犠牲となり昨の親友は今日の仇敵たり哀れ二人の友誼は白人の遊戲となり又到頭の奮闘に敗友は傷き倒れて我が妻子に無事始めて彼の眞情を知り誤解を悔ゆ ○舊劇「加賀鳶」全三卷八十七場 ▲旗本と火消の衝突おなじみの日玉松之助火中の大活劇は天下一品見逃す勿れ

小説 過去の罪 山縣五十雄氏譯 定價四拾錢郵本社持
親子の愛、兄弟の愛、主從の愛、戀人の愛、人情の極度の現はれたる活劇にして局面の變化多く趣味津々たる小説、始めより終りまで悲愴にも異樣の分子を含ますして而も教訓に富む、家庭小説として最上の讀物はこれ也
京城日報代理部



るいれき … 平井博濟院

日本郵船 仁川出帆
○大連太沽牛莊行 高砂丸 九月十九日 正午出帆 三河丸 十月 日 正午出帆 相模丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕部

尼崎汽船 仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸 九月十九日後四時出帆 君が代丸 九月十一日後四時出帆 神代丸 九月十日後四時出帆 大有丸 九月十七日後四時出帆
○群山、大阪行 土海丸 九月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

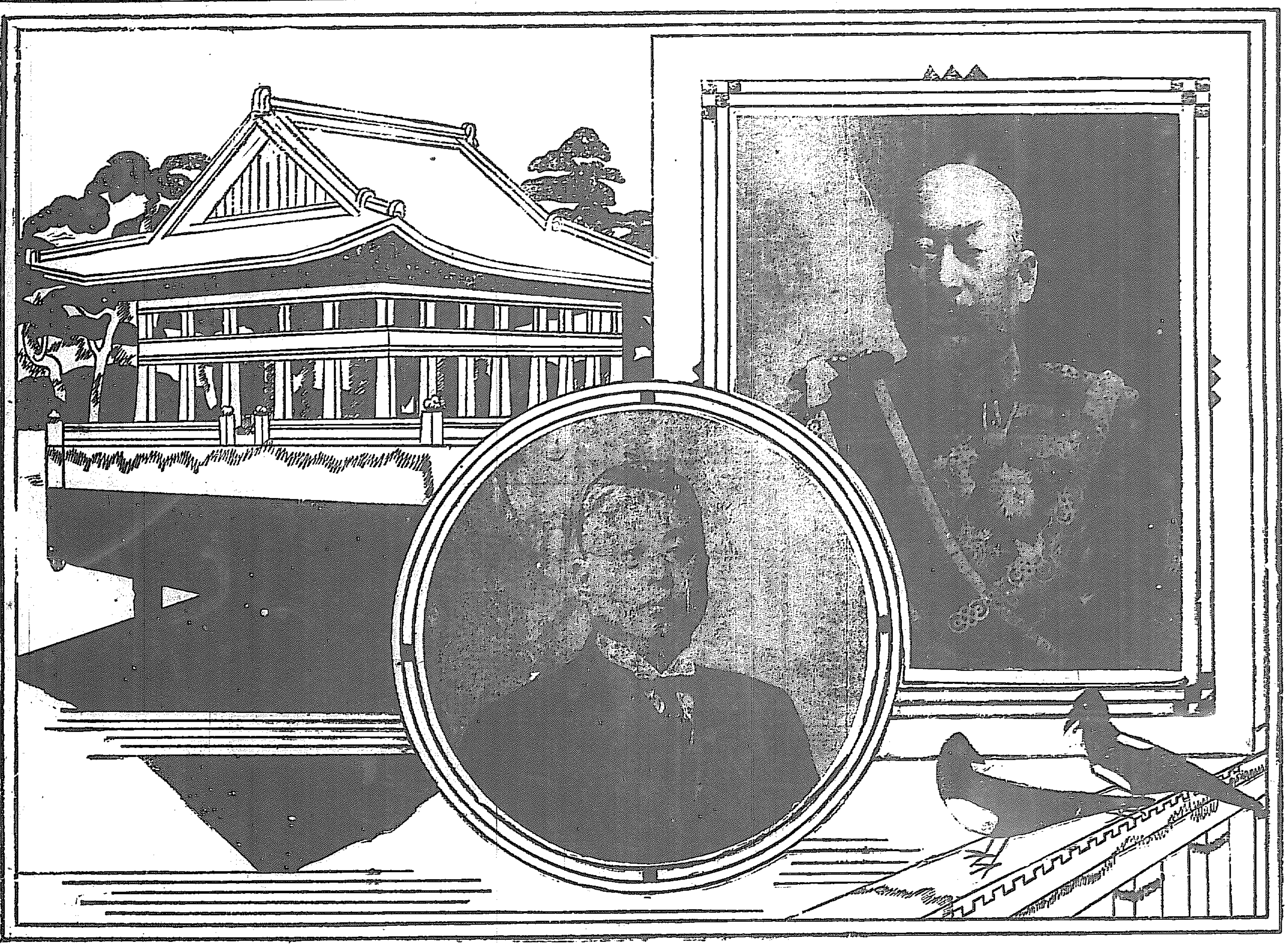
朝鮮郵船 出帆 本社 電話長一九五二番二三番 鐵道及社外船と各客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、商客取扱店に御照會願候 京城南大門通前 京城商客取扱店 松原運送店 電話(二七〇)番
全羅丸 九月廿五日 京畿丸 △九月十五日 黃海丸 △九月十九日 咸鏡丸 九月廿九日 門司より釜山各港寄港雄基間 但△印は元山釜山間直航する 釜山發
昌平丸 九月廿日 鄰城丸 九月十六日 元山發
忠清丸 九月二十日 竹浦丸 九月 日 元山より各港經由雄基行 城津、清津、浦潮行復航寄港元山經由門司 元山發
永興丸 北久咲、五里浦行 又は長崎延長 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 廿浦、九龍浦、浦項各港寄港 九月十八日 釜山發
江陵丸 江陽丸 長生浦方魚津寄港 毎月 (釜山浦項)發
三浦丸 長承浦、閑水、巨文島、濟州島各港行 九月十一日 釜山發
海州丸 巨濟丸 麗寶丸 各港經由山陽行 毎日 釜山發
順天丸 各港經由麗水行 三日目毎 木浦發
慶興丸 各港經由濟州島行(月八回) 九月十五日 木浦發
公州丸 南多島海列島行(月三回) 九月十二日 木浦發
宗信丸 海州他各港經由鎭南浦行 九月十五日 仁川發
江原丸 靑島直行、大連、芝罘行 九月十三日 仁川發
麗水丸 初鵬丸 各港經由木浦行 九月二十日 九月十四日 仁川發
全州丸 南陽丸 江華島、海州行 毎日午前 仁川發
平安丸 往航大黒山、木浦、群山行 復航門司、木浦、群山行 九月十四日 九月廿二日 群山發 若松發

漢江沿岸 春川行出帆廣告
日本形帆船に日人船夫を乗せ荷物の運送を致し春川へは三日に著き候から御引立を偏に願上ます
元扱店 副島運送店 京城取次店 酒井運送店 春川支店 いろは旅館

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 九月十四日後五時出帆
○元山城津浦潮行 小倉丸 九月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 九月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 九月十六日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三寧平丸 九月十二日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三寧平丸 九月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大貝丸 毎月三日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山本町 大池回漕部

大阪商船 仁川出帆
中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 漳州丸 九月十三日 宮島丸 九月十六日 須磨丸 九月十九日 漢城丸 九月十一日 午後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行 安東丸 九月廿四日 天智丸 九月十八日 午後二時出帆
○鎭南浦、大連行 安東丸 天智丸 九月十日 九月廿日 午後二時出帆
○鎭南浦、開門、神戸、大阪行 漳州丸 九月十三日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行 千珠丸 チヨイサン丸 九月十七日 九月廿六日 午後四時出帆
○大連直行 千珠丸 チヨイサン丸 九月二十日 九月十三日 正午出帆
○元山、清津、浦潮行(釜山出帆) 地久丸 宮島丸 城津丸 九月廿七日 九月十七日 九月廿二日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 東丸 基隆丸 九月十三日 九月廿二日 午前十時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及各線滿鐵との聯絡運輸取扱仕候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二一番 二〇五五番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

阿波共同汽船 仁川出帆
○芝罘、大連行 共同丸 九月 日後七時入港 九月十日前九時出港 大連にて青島行定期船に接續す
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第二成鶴丸 九月 日後九時 九月十日出港
○西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 第三益丸 九月十一日 九月十二日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店



京城日報

年中無休刊
(七曜祝日翌日休刊)

定價 一部金三錢 壹ヶ月金五拾錢 郵送に限り前金 郵稅共三ヶ月 九拾錢 六ヶ月壹圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲紙面内所定一行金貳圓 ▲三號活字の一行は二號活字同樣

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 松田政太郎
太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯 三四五番 營業 長 三二八番 振替貯金口座京城一三〇〇番

第三版

大阪三品 東京期米 大阪株式 一二六〇 一四五七〇〇

大阪期米特電（十日） ▲後場 當限寄付十二圓四十九錢 △中限寄付十二圓五十八錢 △先限寄付十二圓七十八錢

仁川米豆取引所 ▲十日後場 大阪前止七十錢代寄七十八錢の入超

▲後場薄商內

共進會開會

炎帝威を戢め、秋風一過、萬里清氣天地に洽ねく、山色明淨、正に是れ一年最好の節、恰かも朝鮮始政滿五週年に當り、物産共進會は今や準備全く成り、本日を以て開會を見る。白岳の麓景福宮裡、園林の間倏忽現じ出す彩厦光樓、盛觀眼を眩ぜんとす。星霜五年、朝鮮統治の基礎茲に確立し、德化和平の慶光は十三道に洽ねく、産業の發達人智の進步駸々乎として半島の山河面目を一新す。此の好秋、我皇即位の大典を行はせられ、帝國の威武更に八方に伸びんとするの盛時に、朝鮮は始政五年を記念し、普く半島の物産を蒐集して之を一般に展示し、優劣を較べて功賞皷舞し、民衆をして新政の惠澤を自覺せしめ、反省啓發、拮据勉勵するに於ては如何に其効果の偉にして各自の福利の大なるべきかを目前に會得せしめ將來更に産業の振興を期せんとす是れ此の共進會を開催する所以。目的は啻に之に止まらず進んでは此機會に内地人を招致し、未だ詳かにせられざる朝鮮を彼等の前に展開して實情を究め眞價を知り、朝鮮の爲す有るべきを覺らしむる、實に深厚の意味の存するを遺る可らず。朝鮮在りて未だ見ざるの盛擧、其の何の爲めに行はるゝや、其目的を正解して最も有益に利用せよ茲に開會を祝福す。

大共進會

敷地七萬二千坪——五千三百坪の建物 四萬餘點の出品——七十萬圓の經費

始政五年記念朝鮮物産共進會は内外の施設全く竣りて今十一日午前九時開場の式を擧げ同十一時より一般の入場を許す其開期は十月三十一日までにして五十日間なり

■會場●は景福宮内七萬二千坪の地域を畫し、勤政殿、交泰殿並に慶會樓等主要の建物に修理を加へ會場の一部に充用せる外は在來の建物を一掃して各種の陳列館を新營設備す、此使用建物總計五千二百六十一坪也

■陳列館●は大體之を第一號館、第二號館、審勢館、美術館、機械館、博愛館、農業分館、水産分館、參考館に分ち其外別に參考美術館、印刷寫眞館、鐵道局館、營林廠特設館、觀測館、東拓特設館、牛舍、鷄舍羊豚舍あり、舊宮殿並に廻廊を利用せる博愛館、參考美術館、印刷寫眞館、農業水産分館及び牛鷄羊豚舍の外は何れも今回の新營に係る

▲第一號館は建坪數一千四百七十六坪を有し農業、拓殖、林業、鑛業、水産、工業の第一部乃至第六部に屬する朝鮮内出品を陳列せり

▲二號館は臨時恩賜金事業、教育、土木及交通經濟衛生及慈惠救濟、警務及び司獄の第七乃至第十三部に屬する朝鮮内の出品を陳列す、此建物坪數七百五十一坪なり

▲審勢館は之れを十三區に分ち各道に於ける五年間の道勢建坪數二百二十四坪

▲農業分館及び水産分館は農業及び水産に屬するもの〻内農具、果實、蔬菜、花卉、盆栽、挿花、漁具、模型を陳列す建坪六百七十坪

▲博愛館は思政殿を利用して赤十字社の出品を陳列す此建坪數六十三坪也

▲機械館には朝鮮内外の出品に係る器械類を陳列し、開會中運轉して觀覽に供す、其建坪數二百坪なり

▲參考館の出品は專ら朝鮮外の生産品にして朝鮮に於ける各種生産の參考に資す可きものに屬し建坪數五百六十一坪を有せり

▲美術館には繪畫、彫刻、刺繡、漆器等の現代美術品及び考古資料を陳列す本館は永久的煉瓦造にして總建坪百六十六坪を有し其前面には一大庭園を設けて之に朝鮮古代の藝術を代表す可き石佛、石塔類を据付又音樂堂を置く

■慶會樓附近●の一區畫は協贊會場にして賣店、飲食店及び餘興場等を設け、特に夜間の開場を許して一般市民並に旅客の入場を自由ならしむ

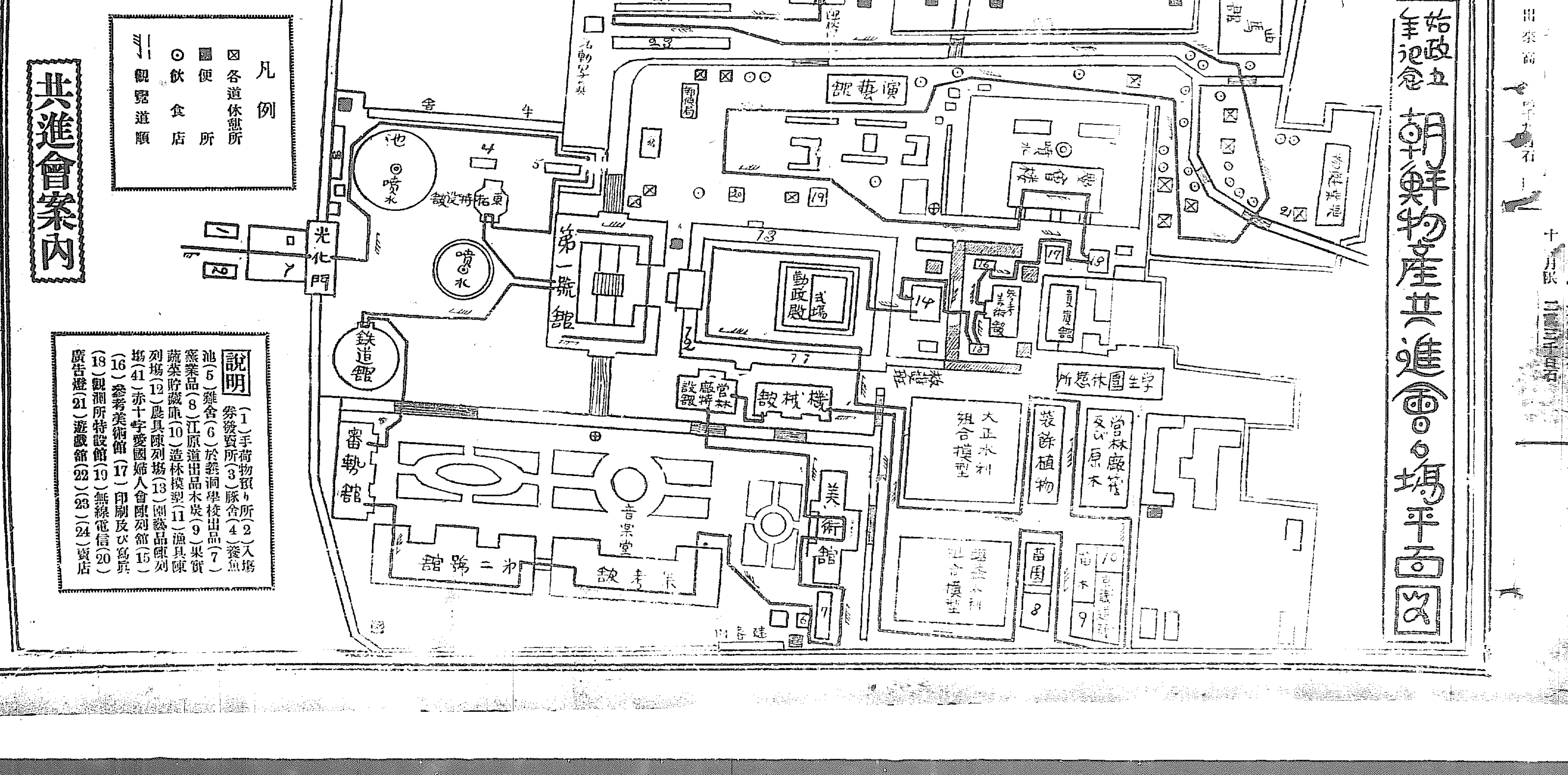
■出品點數●は朝鮮内出品三萬二千六百五點、朝鮮外參考品八千六十點、總計四萬六百六十五點、此内朝鮮内出品は各道に於て蒐集するもの二萬七千五百八十八點、官廳より出品するもの五千十七點なり

■共進會に投せる經費●は總督府豫算より支出するもの五十萬圓にして之に各地方費支出額並に民間の寄附金に依りて成立せる各地協贊會の費用を合せば總額七十萬圓に達す可し

■如期本共進會は其規模、設備朝鮮未曾有にして啻に新政施行後に於ける第一回共進會として愧づるなきのみならず、之を從前内地開催の府縣聯合共進會に比するも遙に壯大なるを知る可し

■寫眞 寺内總督 山縣事務總長 慶會樓(共進會場内)

本日朝刊八頁



列強大戰亂電報

▲露軍一大活動の前提

露國皇帝陛下がニコライ太公に代り露軍の總帥となりたる一事は露軍が一大活動を爲す可き前提にして最近露都よりの電報頻りに露軍の勝利を傳へたり又參謀總長に任命せられたるアレキシーフ將軍は露土戰爭當時の功勞者にして智慮才略ある好將軍にして全軍に及ぼす好結果を期待せらる（倫敦發）

▲露獨大戰鬪の中心點

露獨大戰鬪の中心點はグロドノの東南より中央波蘭のニーメン、ブリベツト兩河の間百十哩の戰線に在り露獨互に頑強なる戰鬪を繼續露軍は敵の攻勢を引續き阻止すと（倫敦發）

○大禮御擧行日取發表

天皇陛下には來十一月十日京都に於て御即位大禮を十四日大嘗祭を御擧行の爲め左記日割を以て京都及び伊勢神宮傍祕山陵に行幸遊ばさるゝことに御治定御成り十日内閣より發表せり

▲十一月六日　京都に行幸の儀▲七日　賢所春興殿に渡御の儀▲十日　即位禮當日賢所大前の儀▲十一日　即位禮後一日賢所御神樂の儀▲十二日　神宮皇靈殿神殿並に官國幣社に勅使派遣の儀▲十三日　大嘗祭前一日鎭魂の儀▲十四日　大嘗祭當日神宮に奉幣の儀、大嘗祭當日皇靈殿神殿に奉幣の儀▲大嘗祭當日賢所御饌供進の儀▲十六日　即位禮及び大嘗祭後大饗第一日の儀▲十七日　即位禮及び大嘗祭後大饗第二日の儀、即位禮及び大嘗祭の後大饗夜宴の儀▲二十日、二十一日　即位禮及び大嘗祭後神宮に親謁の儀▲二十四日　即位禮及び大嘗祭後神武天皇山陵に親謁の儀▲廿五日　即位禮及び大嘗祭後明治天皇山陵に親謁の儀▲廿六日　孝明天皇山陵、仁孝天皇山陵、光格天皇山陵に親謁の儀▲廿七日　東京に還御の儀▲廿八日　賢所豐明殿に還御の儀▲二十九日　東京還幸の後賢所御神樂の儀▲三十日　還幸後皇靈殿神殿に親謁の儀

右の外十二月二、三日中に青山練兵場に於て擧行の大觀兵式三、四、五の三日間内に東京灣にて擧行の大觀艦式並に上野公園にて擧行の東京市奉祝會に行幸あらせらるゝことに御内定相成居れり（東京特電）

○豫算閣議と防務會議

九日の閣議に於ける政府明年度の豫算に關し武富藏相は大藏省の提案に計上せられたる明年度の歲計は歲入總額五億三千五百萬圓歲出九億五千五百萬圓にして右歲出に對する歲入の不足額は剩餘金の繰入額一千萬圓と軍需品の賣拂代金及び其他の特別財源を以て之に充當する計畫なる旨言明せり▲歲入は經常臨時を併せ普通歲入に屬するものは五億三千五百萬圓なれども政府は此外に軍需品の輸出より生ぜる金兵器賣拂代金收入、雜收入及び剩餘金繰入に依り財源を案出したるが其金額は合計二千萬圓に上れり▲歲出總額は査定案に於ては五億五千五百萬圓を計上したれどもそは各省の要求總額五億九千五百萬圓に對し四千萬圓を削除したるものなり之を四年度實行豫算に比するに四年度豫算は歲出總額五億八千七百萬圓なれども法律の結果或は自然減額す可く歲出約六千三百萬圓存するを以て新事業の要求せられざる場合に於て生ず可き歲出の總額は五億二千四百萬圓なる可し然るに本年度歲出の四年度歲出に超過する約三千萬圓は來年度の新規要求額として査定案に組込まれたるものなり而して右三千萬圓の新規要求額の内約五百五十萬圓は所謂補充費として純粹の新計畫と認む可からず故に自由要途として計上せられたる純新事業費は差引二千五百萬圓に過ざるなり然して新規要求費の重なる者は海軍補充計畫、恩給費、電話擴張費、造船奬勵增加費、航空術研究費、外國語學校新築費等にして九日の議題に供せられたる海軍補充費及電話擴張費なり▲海軍補充費に付ては大藏省は海軍省の要求額一億七千萬圓の計畫は國防上敢て過當に非ざる可しといへども國庫の歲入は戰亂の影響を受け近く戰前の盛況を期待す可からず故に約六千萬圓を削除して總額を一億一千萬圓に止め右六千萬圓の削減額に對しては戰亂終局を告げ歲入狀態の恢復を待つて追加計上するを適當なりと主張し且五年度の豫算割額を五百萬圓に止めたるが之に對し加藤海相は八四艦隊編成の理由を述べ原案を固執したるが大隈首相の提言により防務會議を改正し財政との調節を圖ることに決せり▲海軍補充計畫實行に伴ふ防務會議は愈々之を開會することに決し十三日午前十時より首相官邸に開かる可し（東京特電）

○帝國議會開會

第三十七帝國議會は十一月二十九日を以て東京に召集し十二月一日開院式を擧ぐることゝし十月二十日前後に於て召集令を發することに内定せるものゝ如し（東京特電）

○帝政實施延期

支那に於ける帝政實行は既に諸般の下準備成りたるも四國の關係上歐洲戰亂克復後迄延期の事に内定せり（東京電報）

○觀光團釜山著

兵庫觀光團服部知事以下二十五名新羅丸にて著釜大池旅館に投宿十一日午前六時五分發汽車にて馬山に向ふ筈、馬山線水害不通なるも其れ迄には開通の見込なり（釜山特電）

共進會職員（右より）
事務委員長　石塚英藏氏
庶務係長兼會計係長　兒玉秀雄伯
審査係長　山形閑氏
土木係長　持地六三郎氏

雜報

○本年の特別演習

昨年までは朝鮮駐劄軍と臨時派遣隊と聯合し秋季特別演習を擧行したるが本年よりは各別に之を行ふ事と爲り臨時派遣隊は慶尙北道に第十五旅團は京畿道管内に何れも十月中旬擧行せらるべしと

○金剛山と自動車

元山溫井里間自動車は從來鐵道局に於て經營の處這回江原道協贊會に於て新に平康末輝里間を引受け元山の三島八郎氏をして之が經營に當らしめ十一日より實施の筈而して元山溫井里と平康末輝里各地隔日發運轉にす料金は元山溫井里間は從來の通り六圓、平康末輝里間は七圓今內金剛のみ遊覽する客の行程を示さば左の如く四日間を要す

▲第一日　京城發　平康著
▲第二日　平康發　長安寺著
▲第三日　內金剛遊覽　末輝里著
▲第四日　末輝里發　京城著

○グ博士に年報寄贈

總督府菱田通譯官は目下東京滯在中の米國グッド、ノー博士に對し一千九百七年より同十三年に至る統監府及び總督府の施政年報を寄贈し博士の該博なる識見を以て公平の批評を希望したりと

○高普生徒修學旅行

京城高等普通學校附設教員養成所及び同校師範科職員生徒約百名は十二日より約十八日間の豫定を以て東京、京都、大阪及び福岡地方へ修學旅行をなす可く十二日午前八時三十分南大門發列車にて出發の豫定なりと因に鐵道にては右一行の爲特に三等客車一輛を增結する由なり

大共進會　一般開場本日午前十一時

大共進會

▲水族館開館式

擧式次第　十一日午後一時より水族館開館式擧行の事は既報の通りなるが當日は午後一時を合圖に爆竹を鳴らし一同着席中村技師（代理）中島技手の建築報告あり久水會長の開館の辭に次で總督（代理）の訓示道長官（代理）の告示及び來賓側よりは加來飯田松尾三氏の內一名の祝辭ありて閉式館外大天幕內にて立食の饗應あり午後三時より一般觀覽者の入場を許可し五時閉會更に夜間開場をなし六時より十時まで一般觀覽者を入場せしむる由

▲團體觀覽　水族館劈頭第一の團體見物として黃海道海州郡の鮮人七十五名十日仁川に來れり

▲市中裝飾　開館式當日仁川全市は各戶會旗及び國旗を掲げ軒頭には會燈を吊し各町要所には大國旗を交叉し滿街飾を施すべし

▲庭園設備　噴水塔及び庭園の樹木音樂堂等は過日來の霖雨にて頗る工事に支障を來したる上再び八日以來の風雨にて工事益々捗らざるを以て九日は人夫を增し夜を徹して工事を取急ぎ開館當日迄には竣工せしむる筈

▲更正豫算可決

既報の如く九日午後八時より仁川商業會議所樓上に於て仁川協贊會商議員會を開き久水會長の事業經過の報告、各部長の報告あり更正豫算は異議なく可決必要に應じて金額川千圓を限度に物品を購買し得ることゝなれり

京城協贊會役員（右より）
協贊會長　吉原三郎氏
副會長　[illegible]
副會長　金谷充氏

▲運輸業懇和會

共進會の開催を機とし大和田與治郎氏其他の人々發起人となり來る十月四日京城に於て朝鮮運輸業者懇和會を開催し朝鮮全道同業者に普く贊同を勸誘すべし同會には鐵道局遞信局農商工部等の人々よりは斯業に關する講話を請ひ又共進會及び京城仁川の兩協贊會よりは觀覽上の便宜を得る等にて尙ほ出席者には汽車汽船運賃の割引指定旅館の設定等の便宜ありと懇和會々費は三圓五十錢なりと

共進會ノート

九月十一日　開場式
九月十二日（日曜）　全國料理家業者大會
九月十五日　同
九月十六日　同
九月十七日
九月十九日（日曜）
九月二十三日　新聞記者懇話會
九月二十四日　秋季皇靈祭
九月二十五日　鑛業者懇話會
九月二十六日（日曜）　鑛業者懇話會
九月二十八日　閑院宮殿下御入京
十月一日　併合記念日開會式
十月二日　日本赤十字社及び愛國婦人會朝鮮本部總會
十月三日（日曜）　鐵道一千哩祝賀會
十月五日　閑院宮殿下御退京
十月八日　水產懇話會
十月九日　水產懇話會
十月十日（日曜）　朝鮮醫學總會
十月十一日　朝鮮醫會總會
十月十三日　銀行業者懇話會、全國商議會大會
十月十四日　銀行業者懇話會、朝鮮酒商大會、全國商議會大會
十月十五日　內鮮商業會議所聯合懇話會
十月十七日（日曜）
十月十八日　賞品授與式、功勞者表彰式、朝鮮農會總會
十月十九日　朝鮮農會總會
十月三十一日（天長節祝日）閉會
備考　日曜及大祭祝日は一人に就き入場券二枚を要す

人事消息

▲楢詰良一氏（大阪每日新聞記者）　十日入京山本旅館に投宿
▲山岡千太郎氏（久原鑛業支配人）　十日夜出發內地へ
▲秦秀作氏（平安北道內務部長）　十日入京南山尾旅館へ
▲吉田壽信氏（廣島郵便局[illegible]）　十日入京朝鮮ホテルへ

時事評林

縱又橫　龍山隱士

遼陽秋色來何處。先是綠泉亭畔山」。十共進會又博覽會。滿城佳氣翩旌旆。三道競列優良。神社衞陳世利害」。督府經營看善政。報館施設適時情。官途繹絡車馬簇。帽影衣香縱又橫」。五載星霜歲月速。殖產興業足驚目。歲々年々入智開。天數半島降此福」。君不見想昨東洋伏魔殿。今日祝太平新版圖」。

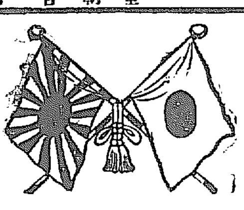
評云、始政五年共進會、十三道互競優劣、新報館施設家庭博覽會、頗適民情、秋風滿城、細要批判。

急告

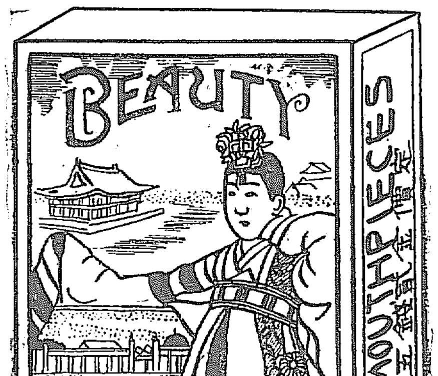
水族館開館閉館時間
晝間　午前九時より午後五時まで
夜間　午後六時より午後十時まで
但本十一日は一般觀覽者は午後三時より入場を許す

東西南北
▲街の眞中で天理狂の劇　赤穗義士傳で[illegible]
[illegible]

祝共進會開催



◎記念新煙「ビューテー」出づ
本品は共進會記念の趣旨により特製せる香味無類の新煙にして開會中に限り破格の廉價にて華客に提供可仕候

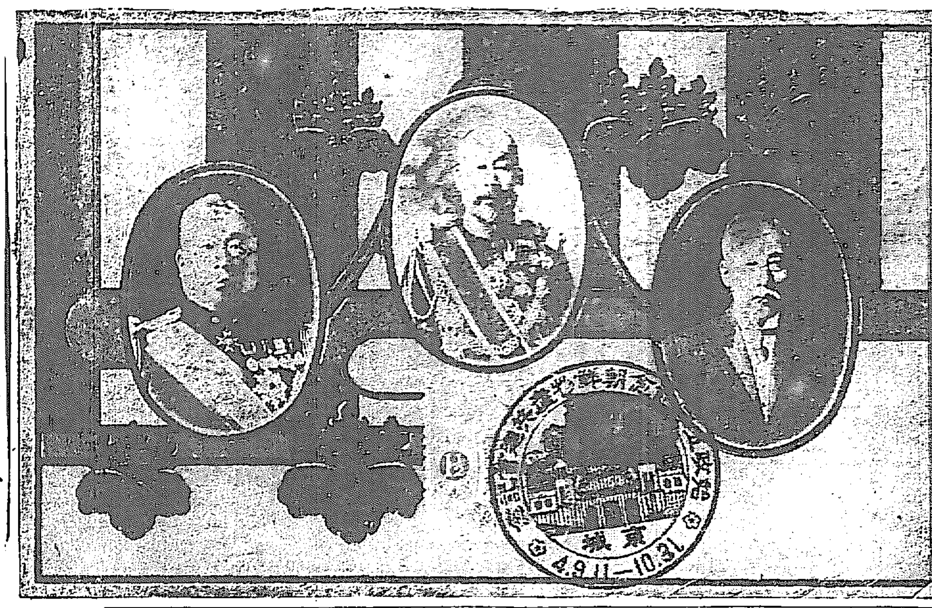


一包十本入
定價二錢五厘

試みに新煙「ビューテー」を一度御喫用になれば其の人は良煙にして喫む心地良さに驚いて一生斯の煙草を離すまいと御決心になります

東亞煙草株式會社

…つ（も）の三人は…を拂ひ天理教…めて居る内に娘のみつも共にかぶれ…に四つん這となつてワンくと犬の…の大有難屋去る三日の午前のこと家内打連れて旅立つ布教師を送つて電…て『貧の神とは知らなんだ今度は愈々眞似を始め果ては親子三人手を取り合て踊り狂ふと云ふ騒に警官出張相…よ現れたと花恥しい娘子にあられも…は先年陸軍省から東…のだが其の時六號の方にゐたお…



□共進會記念繪葉書と記念スタンプ

榮ある今日
五彩輝く滿街の歡喜
＝大共進會の開會＝

吾人は吾が敬愛する愛讀者各位と共に祝す可き爽やかなる秋晴れの朝九月十一日、始政五年記念朝鮮物産共進會開會の日を迎ふるを歡ぶものである、而して愉快に快活に此日一日を共進會場及び協贊會場に、智識と歡樂の中に沒頭せんとするは吾人は此光榮ある一日を迎ふるに先立ち十一日午前十一時如何にして共進會場の門扉が一般觀覽者の爲めに開かるゝかを報じ、且つ當日場内に行はるゝ開場式の順序、協贊會祝賀會の次第を記して其の壯觀を豫想せんと欲す、思へ―その朝―京城市中は一變して縱横に張り周されたる旗に提灯に、造花に滿飾な施され、市の北端に聳ゆる白岳山麓、景福宮の一廓、朝鮮固有の雄大壯嚴なる殿宇樓閣の間に、ルネサンス、セ、ツション式の宏壯なる洋館が幾棟となく輝き立てる共進會場は五彩色美しう裝ひを整へ、初秋の風に日光に照り映ゆる樣を

斯くて午前八時過ぎとなれば寺内總督を首め、山縣共進會事務總長以下共進會各役員、審査部長、審査官審査員、評議員、協贊會長以下各協贊會役員、軍司令官、參謀長、師團長、李王職、中樞院の各高等官無慮三百餘名の相前後して馬車、自動車人車を驅り共進會場に集るを見るであらう、これぞ

□當日の開場式に臨まんとする晴の人々である、開場式は勤政殿内で午前九時から執り行はれる、山縣事務總長の事務報告について

寺内總督の開會宣言あり、それから石塚事務委員長の案内で總督以下一同場内を巡覽する、さる程に時針午前十一時を指すや**轟然たる號砲の響き**漢陽公園より京城龍山の空に鳴り渡れば、京龍各工場は氣笛の音高く一齊に之れに倣ひ、各寺院亦梵鐘を打ち鳴らし、**百發の煙火**は漢陽公園と共進會場から打ち揚げられる、時に瀏喨たる奏樂につれて共進會の正門

□**光化門の大扉**は靜かに開かれてこゝに場外に波を打つて開場遲しと待ち設けたる一般觀覽者の入場は許さるゝのである、一般入場者は**入場料**が平日だから五錢入場券販賣所は門前東方にある、朝鮮風の建物、西方の洋館は手荷物預り所である、卅人以上の團體、學生、軍人は半額、六歲以下は無料、入場は光化門及び迎秋門の兩門から出來る、一方協贊會場の方では此十一時の合圖で歡樂の巷、餘興場内の各興行物總ての蓋を開ける、此日午後二時からは吉原協贊會長の名に依つて**招待**されたる**人々**、寺内總督以下千四百五十名を神武門外の大芝生に招じて、**協贊會主催**の**大祝賀會**が催される、招かれたる官民は

□**一般觀覽者と**共に午前十一時頃から共進會場を訪へば光化門迎秋の兩門の受附で招待狀と引き換へに來賓に對する櫻の徽章、記念繪はがき、會場案内、祝賀會、開會順序等を與へられる、それから時間までを**演藝館**に足を運べば館内には總督府醫院で調劑した**香水を一面に撒き**芳香馥郁として漂ひ、金碧燦爛たる裝飾と華美を極めし舞臺と背景の色彩眼も眩せんばかりなるところに中券、京券の美形連が錬へに錬へた腕の舞振り、『つひのよるべ』『御代の榮』京城妓生の粋を選つた美人連の『壽筵始政五年記念聖澤舞』と引切り無しの歡興に浸ることが出來る、來賓は勿論無料だが一般觀覽者の入場料は特等三十錢、一等二十錢、二等十五錢、軍人團體は二等十錢、小兒半額である、又館外の餘興場では朝鮮芝居、軍艦輪投げ、迷路館、ジオラマ館、活動眼鏡、動物見世物、不思議館、素人角力館等とりぐに人々の足を集める、かゝる間にも時は過ぎて午後二時となれば來賓は

□**祝賀會場へ**こ興行場の横朝鮮劇場の前を一直線に神武門外に集る、祝賀會は大芝生の上に大天幕を張つ大宴會場内に開かれ**立食の宴**が張られる、席上吉原會長の挨拶があつて摸擬店が開放される、朝鮮料理、支那料理、うどんそば、おでん、かんざけ、薩摩汁、壽司、しるこ、だんご、ビヤホールと思ひくに歡を盡して午後五時閉會されるのである、尚ほ此日共進會場内の郵便局の（協贊會事務所の隣）では記念繪はがきを賣り出し**記念スタンプ**を押すと云へば此所の賑ひと雜沓も想像に餘りあるものだ又夜は共進會場、南大門太社の家庭博覽會のイルミネーション、會場と漢陽公園の探照燈で宛然京城市は不夜城と化するは素より協贊會の餘興場丈は夜間も開會される

□**入場料は三錢**で、晝から居つゞけの人はそのまゝでいゝ、夜間の演藝館の出し物は吉備樂の筈であつたが都合で活動寫眞と爲つた、**活動寫眞**は新輸入の封切り物で、滑稽新馬鹿大將に始り、五年理學長、泰西喜劇『花より團子』泰西正劇『舌の根及』上下二卷の長尺物＝最後に若し雨天であつたら協贊會主催の祝賀會は慶會樓の階下で開き各附近の樓閣を摸擬店に當てるさうだ

家庭博覽會本日正午より開催

鐵道大競走選手本日午前八時半南大門驛出發

各興業物入場料

協贊會内にある各興行物の入場料左の通り決定したり

△**演藝館** 特等三十錢、一等二十錢、二等十五錢、軍人團體二等席限り十錢、小供は各等半額
△**朝鮮演劇場** 特等大人十五錢、小人八錢、平席大人十錢、小人五錢、團體特等大人十錢、小人五錢、平席大人七錢、小人四錢
△**娛樂場** 一錢均一
△**軍艦輪投** 拾回五錢
△**角力館** 大人五錢、小人三錢
△**大曲馬** 特等五十錢、一等三十錢、二等二十錢、三等十錢、軍人小人半額
△**矢野動物園** 大人十錢、小人六錢、軍人七錢
△**迷路館** 大人十錢、小人五錢
△**ジオラマ** 大人十錢小人五錢
△**不思議館** 大人十錢小人五錢

一日の晩から素人芝居、義太夫、浪花節手踊、手品、琵琶などいろくの餘興がある筈で前景氣は盛んなものである

仁川の賑ひ

▲**各町の裝飾** 宮町通りは本町の十字街頭と公園下に切子の障子を入れたる萬燈を掲げ協贊會の徽章染め出したる提灯會旗を掲げ軒別に精巧贋物に擬ふ紅葉の釣枝を以て裝飾したれば美觀云はん方なく各戸連合にて景品附賣出しをなし一口五十錢毎に福引券を出し景品は即時渡し一等には上等の簞笥を出すと云ふ大車輪である▲**敷島遊廓**門前の交番は新築せられて外觀改まり門前にはアーク燈を點じ廓内は各樓其れぐ修繕を加へ且つ新開業もありて平素とは見違へる程綺麗になつた

▲**飛行機は二十日** 仁川協贊會後援の飛行機飛揚は同機十八日頃到着す

▲**海女は二三日內** 仁川水族館唯一の呼び物たる海女は一兩日中に群山より來り直ちに觀覽に供す

▲**藝妓鮮妓の手踊** 開館式當日は構内舞臺に於て日鮮藝妓總出にて手踊をなす筈なり

珍客海驢の悅び
仁川の水族館に二千尾の活魚

仁川水族館は愈々工事竣成した階下は本館入口から左に廻り第一號より順次第十七號迄が海水魚の魚槽であつて鯛鱸等を始めとして其の他の珍魚三十幾種が配合好く入れられてあつて總數五百尾で各魚槽の前には標札が張られて魚名が記されてある、尚オプン島突角に養育されてる豫備が控へてをつて何時でも入れ替へが出來るやうになつてる、魚槽第十八號より二十一號迄が淡水魚槽で山椒魚鯉鮒金魚ナマズ鰻カモチ目高其他數種類が風雅なる背景の前に戯れてる本館入口から這入つた處にある水禽池は八坪で鴛鴦鴨鷺鶴が這入つて居つて水の上木の上思ひくに遊んでる水の中にはすつぽんが遊いでる館內の海獸池は鐵柵の中に北海道からの珍客海驢が波を騒してる本館二階は五十四坪で標本室には水產物の標本搦卷の一月より十二月迄の發育狀態が示され土質の良否製造方法の說明書を添へられたる物から鰮其他種々の品が列べられてる穴門の突當に本館の品が陳列され參考館にも色々の品が陳列されてる正門の右方に携帶品預り所切符發賣所が設けられてある正門の左側には警察官派出所が有つて左方に廻れば東亞煙草會社の休憩所が設けられて其の向には自動電話があり尚其の先には

▣**團體休憩**所があり之に連つてブラジル產カフエー及び東洋軒喫茶店其他賣店十數軒搭を列べて建てられてある構內東南隅には餘興場がある妓生の出演する處であるが此等の構內賣店の間には數個の花瓦が設けられてあつて松樅の林が都合よく出來てる三千二百餘坪の構內の中央には噴水池の中央から噴水搭が突出して居つて仁川港內の燈臺を形取つたのである燈臺の周圍には無數の小孔穿たれて此の穴から噴出するのである尚上部の避電針の四尖端からも噴出するのであつて夜間は燈臺內に強力の電燈を點ずる事になつてる本館の斜左前には松林の間に奏樂室が建てられ每日二回演奏される筈である其向の方に蟹の演舞から漁業の實況を現す演舞場がある一回の收容力四五十人位で館內の海水溜十坪である蟹館の後方に豫備海水池があつて

▣**一千石の**海水を充す事が出來るので池邊に太公望の魚釣の狀況が現はれてる豫備海水池に導かれたる海水は貯水池濾過池を通りモーター仕掛の水槽搭に導かれ是れより本館內魚槽の水新陳代謝されるのである蟹館の先に四角形の休憩場があつて側方にはキリンビヤホール活動眼鏡等があつて其の間松樅の林は都合好く配列されてあるから構內は宛然ら一大遊園地である紐峴仁川の兩驛から割引車賃は十四錢

花柳界
兩券遊廓の奮發

京城花柳界では十一日日鮮藝妓總出で市中を練り廻る事は既報の通りだが同日八時京城ホテルに集合し內地人**藝妓は揃ひの浴衣に揃ひの帶、紅葉の笠を冠り**すべて大原女を寫した扮裝、中券、京城券藝妓百五十人が今度新調した高一間長一間半の**屋臺に囃子が入りそれを先頭に**妓生側も百五十人に約六十人の朝鮮樂隊舞童二十二人舞俳優百二十人が屋臺を曳き內地人藝妓を先頭に**同勢五百餘人が九時を合圖に揃つて出發し**先づ總督官邸まで行つて此處で萬歲を三唱し引返して壽町を經て本町に出で同町を練り步いて府廳前を折れて鐘路まで行き此處から共進會に繰込んで行くのである、又新町遊**廓では兩入口に大緑門を立てゝ電燭を點ずる外に各樓では軒先に約二千箇の電燭を點じ提灯を吊して全くの不夜城を現出した**、同地の空地に建築中であつた餘興舞臺は出來上つて十

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左記ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

◎京城府禮智洞二百七十九番地 垈二十八坪 最低競賣價額金四十二圓也 同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 附屬木造草葺平家建一棟 建坪九合七勺五才 最低競賣價額金九圓七十錢也 右競賣申立人 朴承列 不動産所有者 鄭昱相

◎高陽郡神道面紙杻里一統二戸 木造草葺平家一棟 建坪十七坪 最低競賣價額金三十四圓也 同郡同面紙杻里一統十戸 木造草葺平家住宅一棟 最低競賣價額金二十六圓也 右競賣申立人 李德 不動産所有者 李熙

◎高陽郡恩平面梁鐵里五統二戸 木造草葺平家一棟 建坪十一坪八合二勺 最低競賣價額金三十五圓四十六錢也 右競賣申立人 西川健次郎 不動産所有者 吳順

◎京城府弼雲洞百三十二番地 垈八十五坪 最低競賣價額金八十五圓也 同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十二坪六合三勺 最低競賣價額金二十五圓二十六錢也 右競賣申立人 改淳 不動産所有者 太德

◎京城府昌信洞八十八番地 垈五十三坪 最低競賣價額金五十三圓也 右競賣申立人 山本貫一 不動産所有者 洪春

◎京城府吉野町一丁目百三十六番地 垈三十九坪 最低競賣價額金百九十五圓也 同地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪十八坪五合八勺 最低競賣價額金三十七圓十六錢也 右競賣申立人 崔仁成 不動産所有者 高興三

◎京城府蓬萊町二丁目七十一番地 垈四十二坪 最低競賣價額金百二十六圓也 同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十八坪六合五才 最低競賣價額金五十五圓八十一錢五厘也 右競賣申立人 戸谷タミ 不動産所有者 金浴鉉

◎京城府大和町二丁目八十番地 建坪二十三坪七合三勺 木造鉦丹葺平家建本家一棟 附屬木造鉦丹葺平家建一棟 建坪十八坪二勺八才 最低競賣價額金百五十四圓六十五錢也 右競賣申立人 釘本藤次郎 不動産所有者 道城富四郎

◎京城府太平通二丁目二百四十番地 垈二十八坪 最低競賣價額金二百二十四圓也 同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十二坪一合三勺 最低競賣價額金十八圓二十錢也 右競賣申立人 戸谷タミ 不動産所有者 金應鉉

◎京城府新町六番地 木造鉦丹葺二階建本家一棟 建坪三十六坪九合九勺 二階二十九坪三合二勺 最低競賣價額金七百九十五圓七十二錢也 右競賣申立人 梶原末太郎 不動産所有者 陣ノ内吉次郎

◎京城府旭町一丁目百一番地 垈四百五十三坪 最低競賣價額金一千八百十二圓也 同地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪十九坪一合七勺 最低競賣價額金十九圓也 右競賣申立人 韓國殖産株式會社 不動産所有者 富田六磨

右競賣期日大正四年九月十五日午前十時トス

十月…內務省から注意を受…天性白痴であるが平素好んで蛙を食し常に生きた蛙を數匹懷中して之を喰つて食事と爲して居る…在郷軍人會長から…に向つて…に等しき合狀

京日案內

朝鮮總督府 一砂五百五十坪 右購買ス詳細ハ九月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

◉番外 一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五十錢増

◉武術刀劍柔道衣 文武官用刀一般製作修理古刀買賣 京城明治町一 取次四二七 堀兼刀劍店 504

◉共進會門鑑寫眞 定價卅錢 速製 黄金町三丁目 イカリ寫眞館 電話三三六 505

◉通信教授 バイオリン尺八 講義錄發行何人も直に上達する新案特許の方法詳細規則進呈 九州福岡中島三大日本家庭音樂會 508

◉ハキモノ ツゲ下駄 アサウラ 其他色々共進會に伴ひ大安賣出仕候 京城旭町三丁目 小包分室前横入 御小賣 末廣屋 499

賣地 京城南大門通商家屋の敷地凡そ卅九坪望の御方は電話一〇一五へ御來談を乞ふ 黄金町壹丁目 喜多金光堂 447

◎貴金屬美術品 指環眼鏡 京城本町二明治町入 吉川光金堂 電話一五三二 502

引越及諸荷物運搬 安くて安心が出來ます 南山町三丁目（本願寺下） 堀運送社 取次電話一八一七 490

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七七番 山口屋 426

忠者御用空氣輪凝臺付擔架車 貸金一般に勉強致し持に御困難の御方には割引の御相談に應ず 本願寺下堀運送社 南山三丁目（取次電話一八一七） 491

古本は野村に限る 買入誠實 御報參上（電二六三六番） 京城本町一丁目下る 明治町 野村書店 457

諸鳥羽製品 剝製標本類 弓矢一式附屬 京城本町三丁目四二 早崎商店 494

▲乳母至急入用 右望みの者は京城大和町二丁目十六番地 辰市本九方へ申越しあれ 476

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 425

◉ほねつぎ うちみくじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 452

◎普通 一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

◎讓る 本町三丁目均一店行りの盛至急讓る 希望者は至急來談あれ 503

◎電話讓渡 京城電話九〇五番不用に付讓る希望者は京城日報案內係迄來談あれ 詳細面談す 506

◎看護婦見習看護婦入用 希望者履歷書携帶本人來談あれ 京城明治町二丁目 佐藤醫院 496

◎店員入用 運送業に經驗ある迄の人を望む履歷書携帶本人來 京城南大門驛前 松原運送店 497

◎有望職業 即答 ▲ゴム玩具サック類 郵券八錢送れ見本添へ 京城太平通電話四八八 大阪賣 大正洋行 416

◎古本▲雜誌▲新聞▲反古▲買入 電話二五七番 京城本町 ウツボヤ書籍店 475

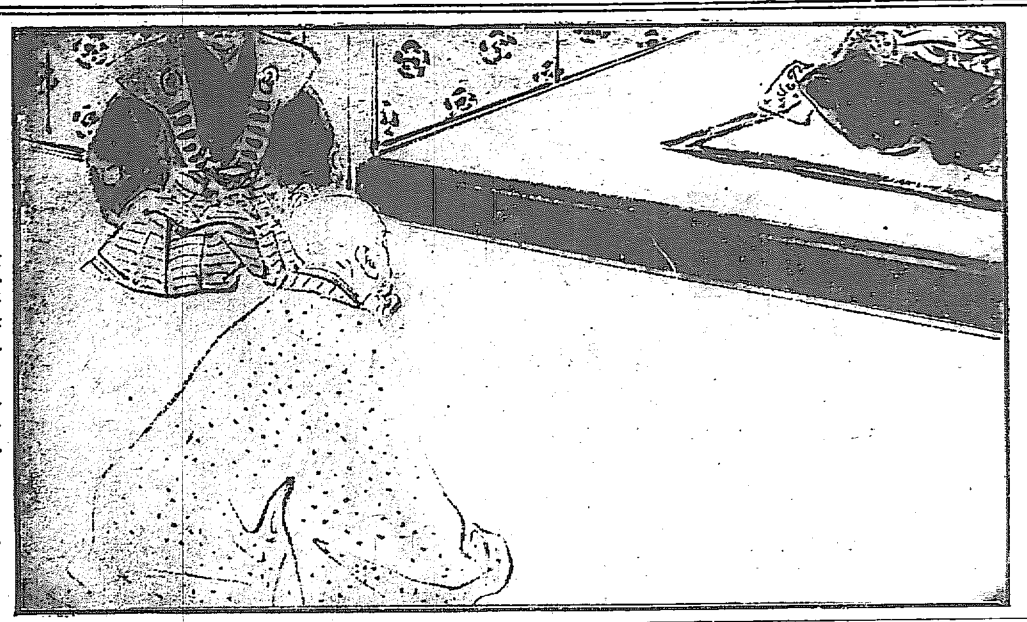
瓢の旗風（548）

番衆浪人
筒井年峰 畫

詭策（十五）

不穩の事のみ續いて、天正十年は暮れて往つた。翌くれば天正十一年、秀吉は拜賀の爲京洛に入り、畏き邊りへはもとより、諸卿へもそれ〴〵の獻上物、殘る處無く濟ませて、直ちに大津から船で安土へ上陸、三法師君に御禮の後、旅舘に歸つて。

『法印！法印！』と呼んだ。



『ハッ。』と座に入つたは、前田玄以法印である。玄以は去冬來此安土に伺候して、若君の御側にあるので、今日は秀吉の下城と共に打連れて、旅舘に入つたのであつた。

『法印に密と訪ねたい儀のあるが、北畠殿神戸殿は、年賀の御禮に罷越されたか。』

『イヤ、御兩所とも、いまだお越し！』

『無いとか。』

『ハッ。』

『さらば歳暮には……』

『それにも御伺候は……』

『いまだ……』

『ハッ。』

『不埒至極……』秀吉の面色はサッと變つた。

『御兩所には、當上樣、また、當お城を何とか思はるゝ。上樣の叔父上とは云へ、三法師樣は正しく御當主、殊に、當お城は、先君の知ろしめされたる大切の地、度々伺候のして、若君の平生を見られ、まつた何角の心附もあるべきに、然は無うて歳暮年始にも、御禮の無いとは、以ての外の儀、法印、御坊孰う〳〵清州と岐阜へ御使者として、罷越されい……』

『仰せ……』と法印は叩頭いて。

『して、其御趣旨は……』

『もとより、上樣よりの御上使、我等は上樣の御口眞似を申すぢやまで、即ち、一日も早く參向、歳暮年始の御禮、其延引の御詫も、重ねて言上あれ、と確と傳へられい！』と厳かに云つたが。

『さて法印……』と直ぐと柔和やかな態度に復つて。

『御坊も、先年より、秀吉の心事はよう存じて居られやうナ。』

『如何にも、悉皆……』

『我等眞意、知らるゝからは、臨機の扱ひよしなにナ。御坊の此後、惡しうはせぬ……』

『委細、畏つて御坐りまする。』と玄以は幾度も點頭いて、立つて行つたが、間も無く上使として岐阜に赴いた。

『安土より御使者……』と觸込んだる岐阜の城中はさはめき立つた。程無く前田玄以法印は、悠々と信孝の御前に通つた。坐には平田壹岐守・國分佐渡守・蜂信濃守の三重職が、慎ましやかに控へて居た。玄以はまづ恭しう一禮して。

『いつもながら、御健勝なる體を拜し、恐悦の申し上げまする。』

『法印か……』と信孝は乾と見て。

『急々の使ゑとか、何用ぢや？』

『恐れながら、上意に御坐りまする殿には先頭より、安土表へ御伺候これなく』

『何と……』

『殊に、歳暮年始にも、御禮として御參向これなきは、御不都の至りと御坐つて……』

『それ誰が申すぢやツ。』と信孝はくわつと急き立つた。

『上意に御坐りまする。』

『默れ、法印……』とわな〳〵と手先を震はせて信孝。

『三法師殿は未だ幼氣、皆筑前が扱ひぢやらう。エ、僭上の沙汰……』と凄まじき形相で、ハッタと玄以を睨めた。

歌について

岡本鳥石

私は朝外の人が起きる迄に、日報の歌壇を幾度共なく讀んで見る、その中に自己の心に共鳴する歌があると嬉しい、その歌だけは印を附して置いて何度も歌て見る。これが其の日の樂しみである、私が十二三の頃よく日本少年へ投書した何度出しても一首だのらないやつと六七回だして一首けのつた其の時の私の嬉しさ足も地に付かぬ程喜んで飛んだ事もあつた生來始めて自分の作歌が印刷され、自分の名が角張た活字で書かれたのであるから喜んだのも無理ではなかつた、今私が歌に接して滿足する歌を見る心と同じ樣である、それで毎日書く日誌も大半は朝の歌に接する時のムードでうまつて仕舞ふのである

次に七日の歌壇で共鳴した歌だけを四五首上げて見よう

○湯上りなすゝきの影で爪切れば鈸の鈴が心地ような（芳子）

湯上りの心に鈴をそへた所は何とも云へぬ味がある、すゝきのかげで、とあるで秋の夕山から月がふと上る所も見えるそれにありのまゝ僞もなく歌た所が私は嬉しい讀み甦す程よい歌になる。

○何事も女なりせてあきらめて白き光りの針を運びつ（美智香）

この歌も前者に劣らぬ歌である。上の句で女らしいやさしい心が見える、現在の女であつて新らしがらぬ心。私は女だと何事もあきらめに消す其心に共鳴する、何となく引しまつた苦しみの無い宜い歌だと思つた、

○海の子と素心に砂ほりあげて砂風呂作り戯れて見る（汀鳥）

この歌は才に走らず落付がありて子供の中へ交て砂遊びして居る男がさと見ゆる、自已の心にひゞく情緒をくつきりと出して居る少し調子に苦しみが有るけれ共云ふ程でもない

○心まで夢を細みて胸に涌く[illegible]の細りの悲しかりけり（葉子）

これも面白いすらすらした上出來の歌であるが、何所となく古めかしい香のある悲しかりけるである、

○世なれたる君がお言葉で悲しけり君は餘りにかしこき女（紫花）

あゝ君はかしこい女だ、が、然し世になれたお前の言葉が悲しいとは眞情に對する男の心、よく云ひあらはしたり。少し句調に耳さはりが有れ共、新らしい思想と、力が有りて面白し

まだ外に部暁、孤外、夕陽諸氏のは可成自由に唄つてあるよい歌だと思つた

終りに望み私は私として歌を唄ふとき人の歌に接する時、歌は自已を僞らずに、才に走られ樣に、言葉の技巧や調子は二者として、我と我が胸にひゞくムードをそのまゝ發現し新鮮なる生活の情緒をたゝへて飽迄も進み度い者と思ふ。

新刊と批評（批評希望者は書籍局宛御送本のこと）

▲新天地（一）朝鮮滿洲に於ける唯一の實業雜誌として創刊せられし雜誌なり發辭（社長）新天地開發の大任務（同）朝鮮統治制度改正論（目賀田男）日本今一の殖民政策（戶水博士）ビューロー公の殖民政策と保護國民の天職（仲小路廉）朝鮮の國家的統一（江藤哲藏）朝鮮の開發に就て（山根男）其他朝鮮滿洲の實業に關せる記事多し花柳界覺え帳並久家の女將と千代本の女將などの記事もあり體裁全なる發達を圖らす（一部金廿五錢京城花園町新天地社）

▲教育の實際（九の一一）實際教育の三大缺點（新渡戶博士）を初め其名に負かず實際的教育に就いての研究的記事多きものあり（定價一部廿錢東京日本橋區本石町三寶文館）

▲大連市民協會々報（二九）一部三錢大連市近江町二四同協會

▲紙の世界（八二）一部五錢東京市小石川區西原町二の一一北社

▲名古屋商業會議所月報（百號）名古屋商業會議所

▲滿韓公論（九月號）滿蒙開發策（復堂）邦人支那殺人の餘地（伊集院彥吉）朝鮮始政五年記念共進會其他よむべし（一部十五錢奉天十間房第六區菅原第七十九號其社）

▲東亞之光（九月號）宗教與に哲學方面の雜誌として本邦唯一なる同誌は斯界に於ける知名の士の高論卓說を掲載せり就中加藤弘之博士の歐洲戰亂と基督教は讀物なるべし（定價二十錢東京本郷區駒込東亞協會）

▲新女界（九月號）主筆安井哲子女史の感想海老名牧師新渡戶博士の論文など一讀に値すべく海老名みや子の米國近信亦面白し（定價十二錢東京小石川林町其社）

▲新人（九月號）何時もながら基督教界第一流の評論家の執筆になるもの數多あり本號には吉野博士の近時政變の批判海老名牧師の愛さ心の聖化內ヶ崎作三郎氏の文明向上の信念等あり（定價二十錢發行所同上）

▲ABC（一の六）一部十錢東京市麴町區富士見町六の一〇英語研究社

▲英語研究（八の九）一部十錢東京市麴町區富士見町六の一〇英語研究社

▲政治と生活（九月號）大山博士を顧問として生まれたる雜誌の第二號（一部十錢東京市本郷區湯島新花町九三新日本の青年社）

大阪株式特電

十日後場

[illegible]	五八、六〇	一〇九、〇〇	一〇八、九〇
[illegible]	二八、五〇	一〇九、九〇	一〇九、八〇
[illegible]	九三、五〇	一一一、三〇	一一一、一〇
[illegible]	[illegible]	一二二、四〇	一二二、〇〇

下關期米

十日後場（材料宜しし）

當地當限米不[illegible]九圓三十五錢より三十三錢先九圓三十四錢と三錢高に寄付一旦二錢押し五錢と返して動かず引際再び二錢と押し三錢で結局保合つ運に散會

替へ九圓三十四錢と上放れに始りたるが二錢と押し五錢と返して三錢市に保合たるより連れて總期內となり市場は氣乘せず一般氣迷ひの風情にて受たり

小康を來す

十日の十一月限

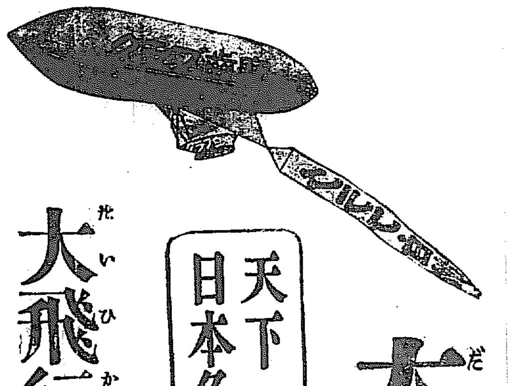
平均値段	
一節	九圓三十六錢
二節	九圓三十四錢
三節	九圓三十三錢
四節	九圓三十二錢

京城日報社主催家庭博覽會開催を祝して

京城の空高く今日も

クラブ繋留

大飛行船揚る！



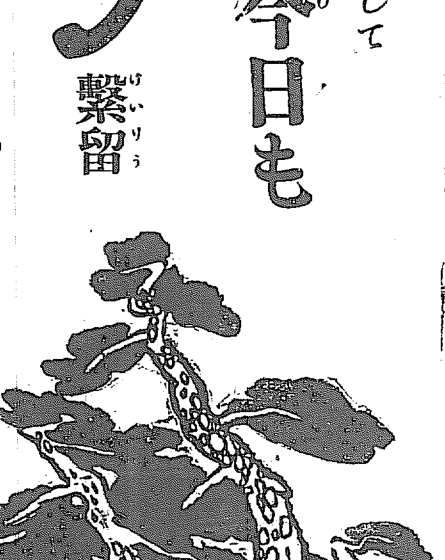
天下一品 日本名物

クラブ白粉本店の

大飛行船揚る！

晝は雄姿堂々
夜は光輝燦然

太平通の空高く〳〵。



祝 共進會開催 家庭博覽會開催

營業科目
靴用革 各種紐革
馬具用革 椅子張革
鞄用革 毛皮鞣
學生靴 註文靴各種
革具 背嚢

朝鮮永登浦
朝鮮皮革株式會社

朝鮮京城南大門通り（大廣橋畔）
朝鮮皮革株式會社販賣店
電話一〇八二番

共進會には越ど方は必らずや津村にてみやげその他を買ふ事を忘れ給ふな
京城本町一丁目
津村兄弟商會

當場産果物京城仁川販賣店
水原停車場前
東山農場
南大門通三丁目（電話七〇三番）京城 東屋
新町三丁町 仁川 東屋支店

優等清酒
一鶴
京城本町四丁目電話六五四番
本莊酒店

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可憐親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

りん病 ばい毒 専門藥房

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありません。只世界の有りとあらゆる痳病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる痳病、梅毒藥とでも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日の京城日報夕刊第四面を御覽下さい。
●ばい毒藥一週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●りん病藥壹週間分普通貳圓特製參圓●照會は返信券を要す

京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會鮮滿本部
電話二五六七番振替京城四六七番
本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會

婦人科 産科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目
院主 衣笠茂
中央婦人病院
電話二三四〇番

攝津灘
大塚釀造所吟製
京城本町四丁目
發賣元 前田酒店
電話一三七番
振替口座四二五